令和3年旭市議会第1回定例会会議録

議事日程（第1号）

令和3年2月26日（金曜日）午前10時開会

- 第 1 開 会
 - 第 2 議席の一部変更
 - 第 3 議長報告事項
 - 第 4 会議録署名議員の指名
 - 第 5 会期の決定
 - 第 6 議案上程
 - 第 7 施政方針並びに提案理由の説明
 - 第 8 議案の補足説明
-

本日の会議に付した事件

- 日程第 1 開 会
 - 日程第 2 議席の一部変更
 - 日程第 3 議長報告事項
 - 日程第 4 会議録署名議員の指名
 - 日程第 5 会期の決定
 - 日程第 6 議案上程
 - 日程第 7 施政方針並びに提案理由の説明
 - 日程第 8 議案の補足説明
-

出席議員（17名）

1 番	片 桐 文 夫	2 番	平 山 清 海
3 番	遠 藤 保 明	4 番	林 晴 道
6 番	米 本 弥一郎	8 番	宮 内 保
9 番	高 木 寛	10 番	飯 嶋 正 利
11 番	宮 澤 芳 雄	12 番	伊 藤 保

13番 島田和雄
16番 向後悦世
18番 木内欽市
20番 高橋利彦

15番 伊藤房代
17番 景山岩三郎
19番 佐久間茂樹

欠席議員（なし）

説明のため出席した者

市長	明智忠直	副市長	加瀬正彦
教育長	諸持耕太郎	秘書広報課長	山崎剛成
総務課長	伊藤憲治	企画政策課長	小倉直志
財政課長	伊藤義隆	税務課長	伊藤義一
環境課長	高根浩司	保険年金課長	在田浩治
社会福祉課長	椎名隆	高齢者福祉課長	赤谷浩巳
農水産課長	多田一徳	建設課長	加瀬博久
都市整備課長	栗田茂	下水道課長	丸山浩
水道課長	宮負亨	生涯学習課長	八木幹夫

事務局職員出席者

事務局長	花澤義広	事務局次長	向後哲浩
------	------	-------	------

開会 午前10時 0分

○議長（木内欽市） おはようございます。

ここで会議を開会する前に、あらかじめご了解をお願いいたします。

市の広報及び報道関係者の取材のため、この後、本議場内の写真撮影を行いますので、ご了解をいただきたいと思ひます。

◎日程第1 開 会

○議長（木内欽市） ただいまの出席議員は17名、議会は成立しました。

これより令和3年旭市議会第1回定例会を開会いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

◎日程第2 議席の一部変更

○議長（木内欽市） 日程第2、議席の一部変更。

議席の一部変更を議題といたします。

おはかりいたします。

新型コロナウイルス感染症予防のため、会議規則第4条第3項の規定により、議席の一部をただいま着席のとおり変更したいと思ひます。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（木内欽市） ご異議なしと認めます。

よって、議席の一部を変更することに決しました。

なお、変更した議席表は、お手元に配付のとおりであります。

◎日程第3 議長報告事項

○議長（木内欽市） 日程第3、議長報告事項。

議長の報告事項を申し上げます。

お配りいたしました印刷物により、ご了承いただきたいと思ひます。

◎日程第4 会議録署名議員の指名

○議長（木内欽市） 日程第4、会議録署名議員の指名。

会議録署名議員の指名を行います。

15番、伊藤房代議員、16番、向後悦世議員、以上の2議員を指名いたします。

◎日程第5 会期の決定

○議長（木内欽市） 日程第5、会期の決定。

会期の決定を議題といたします。

おはかりいたします。

本定例会の会期は、本日から3月18日までの21日間としたいと思ひます。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（木内欽市） ご異議なしと認めます。

よって、本定例会の会期は、本日から3月18日までの21日間と決しました。

なお、お配りいたしました日程表により会議の運営を図りたいと思ひますので、ご協力をお願いいたします。

○議長（木内欽市） 市長より送付を受けております議案は、議案第1号から議案第30号までの30議案であります。

配付漏れはありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長（木内欽市） 配付漏れないものと認めます。

議案説明のため、市長、副市長、教育長ほか関係課長等の出席を求めました。

◎日程第6 議案上程

○議長（木内欽市） 日程第6、議案上程。

議案第1号から議案第30号までの30議案を一括上程いたします。

議案第1号 令和3年度旭市一般会計予算の議決について

議案第2号 令和3年度旭市病院事業債管理特別会計予算の議決について

議案第3号 令和3年度旭市国民健康保険事業特別会計予算の議決について

議案第4号 令和3年度旭市後期高齢者医療特別会計予算の議決について

議案第5号 令和3年度旭市介護保険事業特別会計予算の議決について

議案第6号 令和3年度旭市水道事業会計予算の議決について

議案第7号 令和3年度旭市公共下水道事業会計予算の議決について

議案第8号 令和3年度旭市農業集落排水事業会計予算の議決について

議案第9号 令和2年度旭市一般会計補正予算の議決について

議案第10号 令和2年度旭市介護保険事業特別会計補正予算の議決について

議案第11号 旭市多世代交流施設の設置及び管理に関する条例の制定について

議案第12号 旭市職員の分限に関する手続及び効果に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第13号 旭市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

議案第14号 旭市諸収入金の延滞金徴収に関する条例等の一部を改正する条例の制定について

議案第15号 旭市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

議案第16号 旭市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

議案第17号 旭市コミュニティ施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

- 議案第18号 旭市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第19号 旭市農産物処理加工センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第20号 旭市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第21号 旭市図書館設置条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第22号 旭市塵芥焼却場の設置等に関する条例を廃止する条例の制定について
- 議案第23号 地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院定款の一部変更について
- 議案第24号 地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院第2期中期計画の変更に係る認可について
- 議案第25号 和解及び損害賠償の額を定めることについて
- 議案第26号 指定管理者の指定について（飯岡福祉センター）
- 議案第27号 市道路線の認定について
- 議案第28号 専決処分の承認について（令和2年度旭市一般会計補正予算）
- 議案第29号 専決処分の承認について（令和2年度旭市一般会計補正予算）
- 議案第30号 専決処分の承認について（令和2年度旭市一般会計補正予算）

◎日程第7 施政方針並びに提案理由の説明

○議長（木内欽市） 日程第7、施政方針並びに提案理由の説明。

施政方針並びに提案理由の説明を求めます。

明智市長、ご登壇願います。

（市長 明智忠直 登壇）

○市長（明智忠直） おはようございます。

本日、ここに令和3年旭市議会第1回定例会を招集し、令和3年度一般会計、特別会計及び企業会計予算のほか、条例の制定等の案件についてご審議を願うことといたしました。

開会にあたり、新年度における市政運営について、所信の一端を申し上げます。

はじめに、総合戦略について申し上げます。

総合戦略については、まち・ひと・しごと創生法に基づき、急激な人口減少に歯止めをかけ、地域の活性化を図り、持続可能な社会の実現を目指すものであり、市が継続してさまざま

まな対策を講じていくための最重要計画であります。

第2期総合戦略は、総合戦略を市のまちづくりの指針として、国土強靱化地域計画、行政改革アクションプランを一体化して策定したもので、4月からは2年目に入ります。

コロナ禍ではありますが、重点戦略を中心に、できることを確実に実施していき、市民が安心して暮らし、働き、子どもを生み、育てられるまちづくりを進め、将来都市像である「郷土愛からつなぐ未来 ず〜っと大好きなまち 旭」の実現に向けて、引き続き取り組んでまいります。

次に、総合戦略の中で、令和3年度に取り組む重点施策を、四つのプロジェクトに沿って申し上げます。

一つ目は、「地産振興プロジェクト」であります。

はじめに、道の駅「季楽里あさひ」を活用した交流拠点の形成について申し上げます。

本市の産業や観光、地域の振興を目的に整備いたしました道の駅「季楽里あさひ」については、昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で、売り上げが落ち込んだ時期もありましたが、現在は回復し、順調に伸びております。

今後も、全国トップレベルの農業産出額を誇る「食の郷あさひ」の農水産物をPRするなど、本市のさまざまな魅力を発信する拠点となるよう、取り組んでまいります。

次に、観光資源創出プロモーション事業について申し上げます。

本市の魅力を広く全国へ発信するため、マスコミや旅行関連企業と連携し、地元産品や景勝地などを利用した観光資源の創出と、旅行商品化に取り組んでまいります。また、アフターコロナを見据え、国及び県の観光需要喚起策の動向を注視しながら、市独自の宿泊助成やキャンペーンなどを実施し、観光客の誘致を図ってまいります。

次に、観光イベント事業について申し上げます。

本市では、四季を通じてさまざまな観光イベントが開催され、毎年たくさんの観光客が訪れています。本年のイベントにおいては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策を徹底し、安全に開催できるよう、実行委員会や関係団体とともに準備を進めてまいります。

次に、雇用の促進や起業・創業への支援について申し上げます。

創業支援事業については、市内で創業、起業を目指す方のための「ワンストップ相談窓口」のさらなる充実を図るとともに、商工会や関係機関等と連携し、創業セミナーを開催するなどの支援も行ってまいります。

また、旭市雇用対策協議会が例年主催している合同企業説明会など、地元企業と旭市の未

来を担う高校生とのマッチング機会を支援し、若者の雇用促進に努めてまいります。

企業誘致等支援事業については、市内において事業所の新設又は増設などの一定の設備投資を行った企業に対して、税制面での優遇や雇用に対する奨励措置を講じることで、新規企業の誘致だけでなく、既存企業の事業規模拡大や安定した雇用の確保を支援してまいります。

二つ目は、「子宝育成プロジェクト」であります。

はじめに、出会いの場創出事業について申し上げます。

若者の定住化や後継者の結婚対策推進のため、積極的な情報発信を進めるとともに、新型コロナウイルス感染症の感染予防を講じながら、魅力あるさまざまな婚活イベントを開催し、男女の出会いの場の提供に努めてまいります。

次に、少子化対策について申し上げます。

特定不妊治療費助成事業については、不妊に悩む夫婦に対し、医療費が高額となる不妊治療に要する費用の一部を助成し、治療に伴う経済的負担の軽減を図ってまいります。

次に、子育て支援について申し上げます。

子育て世代包括支援事業については、子育て世代包括支援センターにおいて新たに産後ケア事業を実施し、妊娠期から乳幼児期にわたり、関係機関との連携による切れ目のない支援をしてまいります。

育児支援事業については、安心して育児に取り組めるよう、各種教室の開催や訪問指導等を実施し、育児に関する知識の普及を図るとともに、育児サークルなどの仲間づくりを支援してまいります。

三つ目は、「故郷創出プロジェクト」であります。

はじめに、定住促進奨励金交付事業について申し上げます。

本市では、人口減少対策の一環として、定住促進奨励金交付事業を実施し、若者の移住・定住の促進を図っております。

今後も、本市の魅力を感じていただき、住んでみたい、住み続けたいと思えるまちづくりを進めてまいります。

次に、ふるさと応援寄附推進事業について申し上げます。

ふるさと応援寄附については、本年1月末現在の寄附申込額が約6,700万円となっており、今後も魅力ある返礼品の拡大に努め、本市の知名度向上や産業の振興に結び付けてまいります。

次に、幽学の里で米作り交流事業について申し上げます。

本事業については、大原幽学先生ゆかりの水田を活用し、市内在住者と都市住民が米作り体験などで交流することにより、本市の農水産物と観光資源のPRを図るもので、令和3年度においても農作物を作る喜び、食べる喜びを通して農業の魅力を感じていただくとともに、「食の郷あさひ」のPRを図ってまいります。

四つ目は、「安心形成プロジェクト」であります。

はじめに、地域包括ケアシステムの充実について申し上げます。

高齢者が住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援を一体的に提供する地域包括ケアシステムを充実させるとともに、感染症や災害が発生した場合であっても、必要なサービスが安定的・継続的に提供される体制の構築を目指してまいります。

また、中央・北部・東部に3分割して運用していた地域包括支援センターについて、新たに中央地域を民間委託し、機能強化型センターとするとともに、市直営の地域包括支援センターを基幹型として、在宅医療と介護の連携等、地域包括ケアシステムを推進してまいります。

次に、震災復興・津波避難道路整備事業について申し上げます。

飯岡地域の横根三川線については、飯岡中学校の進入路部分について供用を開始しており、その他一部区間で工事に着手しているところであります。

旭地域の椎名内西足洗線については、椎名内地区で完成した区間の供用を開始し、その他の区間についても工事に着手しております。

今後、2路線とも用地取得が整った区間の工事を順次進めてまいります。

次に、防災について申し上げます。

千葉県により津波対策として進められている、海岸基盤整備事業の河川開口部対策については、開口部10か所のうち、すでに7か所が完成しており、残りの3か所についても、今年度内での完成に向け、工事を進めているとのことであります。

次に、生涯活躍のまち・あさひ形成事業について申し上げます。

本事業については、現在、各種許認可の手続きが行われており、計画地内における造成や上下水道などのインフラ工事については、許可決定後に行う予定であります。

市といたしましても、事業の目的の一つである、都会から人を誘導するという点においては、コロナ禍をチャンスと捉え、現在実施している移住施策と並行して、メディア等を活

用した情報発信やPR活動など、積極的に取り組んでまいります。

また、市域全体へ波及するようなソフト事業について検討するために、事業者と合同で魅力検討分科会を設置し、より魅力を高めるために協議を重ねております。

この事業は、アクティブシニアのみならず、高齢者やこれからの時代を担う子どもたち、子育て世代を中心とした全世代・全員活躍するためのまちづくりであり、将来の旭市発展のために必要な事業であります。

昨年7月に締結した基本協定に記載のとおり、今後も、事業者と市が互いの責務を果たしつつ、連携・協力しながら、令和4年春のオープンを目指し、全力で取り組んでまいります。

次に、令和3年度の基本施策の概要を、総合戦略に掲げた四つの基本目標に沿って申し上げます。

第一は、「魅力ある雇用を創出し、安心して働けるまちづくり」であります。

はじめに、農水産業の振興について申し上げます。

農林水産省が公表した平成30年の市町村別農業産出額において、本市は522億9,000万円で、全国第6位となっております。

今後も引き続き全国トップクラスの農業産出額を維持していくため、農産物の生産性の向上を目指し、関係機関と連携し、さまざまな施策に取り組んでまいります。

園芸生産強化支援事業については、一大産地としてのさらなる発展を目指すため、国及び県の補助事業と併せて、生産施設の整備やスマート化への機械の導入等に対し、支援を行ってまいります。

畜産については、生産組合の事業活動や堆肥を有効利用する機械、施設の導入への支援、臭気対策の実証実験など、畜産環境を改善するための取り組みを進めてまいります。

また、家畜伝染病対策については、市内でも高病原性鳥インフルエンザが発生しており、引き続き厳重な防疫対策が必要となっております。その他の家畜も含め、今後も各農場での飼養衛生管理の徹底を図るとともに、各種防疫対策への支援をしてまいります。

水田農業構造改革推進事業については、今後も主食用米の需要に見合った適正生産が重要となりますので、米価下落対策としても有効とされる飼料用米等による戦略作物の作付けを支援し、水田農業の経営安定を図ってまいります。

農業基盤整備については、水田の大区画化や担い手への農地の集約などを目的とする県営土地改良事業の早期完成を目指し、事業施工中の飯岡西部地区、春海地区、豊和地区について、支援を継続してまいります。

新規就農総合支援事業については、市の単独補助事業である親元就農チャレンジ支援金を拡充し、新規就農者の支援を図るとともに、市外からの就農者を積極的に受け入れ、農業労働力の確保、担い手の育成に取り組んでまいります。

イノシシなどの有害鳥獣駆除については、農産物への被害防止を図るため、引き続き対策を強化してまいります。

水産業については、漁業者の安定的な経営や水産資源の回復のため、漁業共済制度への助成や貝類の種苗放流などを推進してまいります。

また、千葉県が行う飯岡漁港の航路のしゅんせつなど、水産基盤の整備を推進してまいります。

次に、商工業の振興について申し上げます。

商店街活性化事業については、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、消費者の購買意欲の拡大を図り、地元商店街等の活性化につなげるため、令和2年度に引き続きプレミアム率30%の共通商品券発行事業を行うほか、各商店街が実施するイベントなどの商業活性化に向けた取り組みを支援してまいります。

工業振興支援事業については、立地企業の経営基盤の強化を図るため、工業団地内の既存の排水施設等をはじめとした共同管理事業への支援により、企業の生産環境の整備を行ってまいります。

第二は、「結婚・出産・子育ての希望がかない、誰もが生きがいを持てるまちづくり」であります。

はじめに、保健の充実について申し上げます。

感染症予防対策事業については、各種予防接種を実施するとともに、保健所等と連携して感染症予防対策を図ってまいります。

新型コロナウイルス感染症対策については、2月14日にワクチンの使用が厚生労働省に承認されたため、現在、医療従事者から順次、ワクチン接種が開始されております。

なお、接種順位や対象者の範囲が国から示されており、市では希望する高齢者から接種を開始いたします。国のワクチン確保の状況によりますが、市へ供給された場合には、直ちに接種を開始できるように準備を進めてまいります。

あさひ健康応援ポイント事業については、健康診断の受診や感染症予防の対策を含めた、健康目標への取り組みに努めた方に対して景品を進呈することにより、健康づくりへの動機づけや生活習慣病の予防につなげるため、より多くの方に参加していただくようPRしてま

います。

健康相談・教育事業については、健康寿命の延伸と医療費の抑制のため、地域の健康課題を把握し、後期高齢者へも健康教育、健康相談を行うことで、健康の保持増進を図ってまいります。

がん検診、特定健康診査等事業については、新型コロナウイルス感染症予防対策を行った上で、受診しやすい体制づくりに取り組み、病気の早期発見・早期治療の促進に努めてまいります。

次に、スポーツの振興について申し上げます。

コロナ禍における各種スポーツイベントについては、十分な感染対策を行った上で、「旭市民体育祭」、「健康体力づくりフェスティバル」、「旭市民駅伝大会」などを開催してまいります。

また、スポーツ協会への支援やスポーツ少年団の育成を通じて、市民の健康づくりと体力の向上を図ってまいります。

サッカー場整備事業については、令和4年度の開場を目指し、旧飯岡中学校跡地にサッカー場を建設し、さらなるスポーツの振興と地域の活性化を図ってまいります。

次に、子育て支援の充実について申し上げます。

要保護児童等対策の強化を図るため、児童虐待防止のネットワークづくりへの取り組みとして、相談業務効率化のため新たに児童相談システムを導入し、支援を必要とする案件対応の迅速化と適正化を図ってまいります。

また、将来的には、このシステムを活用して、現在、国が進めている全国の市町村や児童相談所等と日常的に情報共有を行う「要保護児童等に関する情報共有システム」との連携も進めてまいります。

妊婦・乳幼児健康診査事業については、妊娠初期から定期的に健診を受け、健康管理に役立てるため、検査費用の助成を行います。また、乳幼児の疾病の早期発見のため、新たに新生児聴覚検査費用の助成も行い、育児支援に努めてまいります。

放課後児童クラブ運営事業については、令和3年度から、平日の夕方と土曜日や夏休み等の朝と夕方において、それぞれ開設時間を延長して運営し、子育て支援の充実を図ってまいります。

次に、学校教育の充実について申し上げます。

学校いきいきプラン事業については、子どもたち一人ひとりがいきいきと輝く、特色のあ

る教育活動を支援するため、各学校へ補助金を交付し、学校教育の充実を図ってまいります。

教育の情報化推進事業については、児童生徒用タブレット端末の導入に合わせて、教職員への操作習得や、授業での活用方法等の指導・助言を行うICT支援員を新たに委託し、効果的・効率的なICTの活用を進め、情報教育の推進に取り組んでまいります。

小・中学校の再編については、昨年度から議論を重ねてきた旭市学校再編計画の素案について、1月にパブリックコメントを実施し、現在、計画策定に向け、最終的な調整を行っております。

今後も、少子化の進行が予想される中で、将来に渡って学校の適正規模を維持し、次代を担う子どもたちにとって望ましい教育環境を確保していくためには、再編による学校の統廃合は避けられないものであります。

まずは、関係者や地域へ本計画の説明を行い、ご理解をいただきながら、実現に向けて取り組んでまいりたいと考えております。

次に、生涯学習の充実について申し上げます。

生涯学習施設については、第二市民会館の改修工事を行い、施設の長寿命化を図るとともに、1階部分を生涯学習施設として整備することにより、老朽化し使用困難となった青年の家と市民会館の機能を集約いたします。

市図書館については、県立東部図書館内へ機能移転するよう協議を進めてきた中で、県から施設利用の条件として、県と本市の双方において東部図書館の取り扱いに関する覚書を締結することが示されました。これを1月5日に締結いたしましたので、今後、東部図書館内に旭市図書館を開館するとともに、施設の譲渡についての協議を進めてまいります。

次に、芸術文化の振興・伝統文化の保存について申し上げます。

文化振興事業については、市民の文化意識の高揚を図るため、国及び県の感染拡大防止ガイドラインを遵守しながら、市民音楽祭やあさひのまつり等の市民参加型文化事業を実施するとともに、優れた芸術文化に市民が接する機会を増やすため、プロによるコンサートや演芸など幅広いジャンルで芸術文化事業を展開してまいります。

文化財の保護については、国指定文化財である大原幽学遺跡の適切な保存管理のため、国の補助事業を活用し、防災設備の更新などの具体的な整備手法をまとめる整備基本計画を策定してまいります。

次に、青少年の健全育成について申し上げます。

本市の新しい時代を担う青少年の健全育成の推進については、学校・地域・家庭と連携協

力し、青少年意見発表大会や地域子ども教室などの体験事業を通して、社会性や豊かな人間性を育む各種活動を実施してまいります。

第三は、「ひとの定着・還流・移住の流れをつくり、人々が集うまちづくり」であります。はじめに、交流の促進について申し上げます。

スポーツ交流については、「旭市飯岡しおさいマラソン大会」、「向太陽杯パークゴルフ大会」等のスポーツ振興事業を通じて交流を促進し、本市の知名度と好感度のさらなる向上に努めてまいります。

オリンピック事前キャンプ地誘致については、ドイツ連邦共和国卓球チーム及びザンビア共和国の事前キャンプに向けた準備を進めてまいります。

東京2020オリンピック聖火リレーについては、7月2日の聖火リレー実施を市民へ一層PRし、オリンピック機運を高めてまいります。

次に、安全で快適な道路の整備について申し上げます。

市民から要望が多い市道の整備については、安全で円滑な交通の確保と生活環境の改善を図るため、道路改良工事、道路維持補修など、要望に対応できるよう事業予算を拡充し、計画的な整備に取り組んでまいります。

また、急傾斜地崩壊危険区域等における災害発生時の通行障害を未然に防止するため、必要な対策について取り組んでまいります。

旭中央病院アクセス道の整備については、国道126号から東総広域農道までの区間で交差点改良を含む舗装工事に着手しており、令和3年度内の供用開始を目指して工事を進めているところであります。

飯岡海上連絡道の整備については、鉄道横断工事委託により、現在、鉄道のり面部分の地盤改良工事を施工しており、今後、鉄道横断部の掘削工事に入る予定であります。

南堀之内バイパスの整備については、令和5年度の完成を目指して工事を進めてまいります。

千葉県により進められている銚子連絡道路の整備については、事業化に向けた都市計画決定への手続きを順次進めていると伺っております。

また、清滝バイパスの整備については、トンネル及び開削部の工事が進められているところであります。

2路線とも、本市にとりましては重要な路線でありますので、今後も早期完成に向け要望をしてまいります。

次に、安全・安心な水の供給について申し上げます。

水道事業については、昨年度策定した「旭市水道事業ビジョン」に基づき、耐震化を考慮した既存施設の計画的な更新、改良を実施し、安全・安心な水道水の安定供給に努めてまいります。

次に、公園の充実について申し上げます。

公園については、市民が自然とふれあい、うるおいと安らぎをもたらす憩いの場として、安全で快適に利用できるよう適正な維持管理を行ってまいります。

次に、住居環境の充実について申し上げます。

住宅リフォーム補助事業については、市民の居住環境の向上等を目的として実施しており、個人住宅のリフォームに対する補助を通じて地域経済の活性化を図ってまいります。

公共下水道及び農業集落排水については、施設の適正な維持管理を通じて安定的なサービスの提供に努めてまいります。

冠水対策排水整備事業については、引き続きサンモール西側の排水路の整備を進めてまいります。

また、旭地域のニ及びハ地区と海上地域の後草地区に対する冠水被害の解消や軽減を図るため、令和3年度は、排水整備における実施設計業務を行ってまいります。

蛇園南地区排水路整備事業については、流末となる幹線排水路の整備が完了したことから、今後、同地区内における排水路の面整備工事を進めてまいります。

次に、廃棄物の減量化と資源の有効活用について申し上げます。

3Rの推進及びごみの減量化については、限りある資源を有効に活用する循環型社会の実現を目指して、市民や事業者の皆様によるごみ減量化や3Rへの取り組みを支援してまいります。

また、4月から開始される、ごみ処理の広域化に伴い、ごみの分別区分や出し方が変更されることから、令和3年度用のごみ収集カレンダーや、ごみ品目別一覧表等の配布を行い、市民の皆様への周知に努めてまいります。

ごみ処理の広域化については、広域ごみ処理施設の建設工事が概ね完了し、現在ごみ処理に係る試運転が実施されており、4月の施設稼働に向けて準備が進められております。

また、広域最終処分場の建設工事については、市民生活に支障をきたさぬよう、早期共用に向けて、引き続き、組合及び構成市と連携を図ってまいります。

次に、自然環境の保全について申し上げます。

環境ボランティア活動の支援については、環境の保全や美化を推進するため、市民やボランティア団体の皆様にご協力をいただきながら、きれいな旭をつくる運動を展開してまいります。

住宅用省エネルギー設備については、家庭における地球温暖化対策の促進及びエネルギーの安定確保のため、環境への負担が少ない太陽光発電設備等を設置する方への支援について、今後も継続してまいります。

洋上風力発電については、昨年7月に銚子市沖の海域が洋上風力発電施設の促進区域に指定され、11月から事業者選定のための公募が開始されました。

今後は、選定された事業者に対し、洋上風力発電を通じた本市への地域振興に協力を求めてまいります。

第四は、「将来にわたって元気な地域をつくり、安全・安心で暮らしやすいまちづくり」であります。

はじめに、高齢者福祉の充実について申し上げます。

介護予防と健康づくりの推進については、地域のつながりの中で高齢者が互いに支えあい、元気なうちから生活機能の低下を予防するための、通いの場などの活動に自主的に取り組んでいけるよう、支援してまいります。

次に、消防・防災力の強化について申し上げます。

防火体制の充実については、継続的に住宅用火災警報器の普及啓発を行い、さらには住宅用火災警報器を設置する後期高齢者世帯に対し費用を助成することで、市民の防災意識の高揚を図ってまいります。

消防体制の充実については、令和2年度に老朽化した海上分署の高規格救急自動車を更新整備いたしました。令和3年度においても消防活動の充実強化を図るため、機能低下した消防ポンプ自動車等を、整備計画に基づき更新整備を進めてまいります。

次に、消費者の保護について申し上げます。

消費者保護対策については、多様化する消費者トラブル等に対応するため、消費生活相談員のスキルアップに向けた各種研修の充実を図るとともに、庁内関係各課や関係機関と連携を図りながら、引き続き消費生活センターにおける相談体制のさらなる充実・強化に努めてまいります。

また、消費生活被害を未然に防ぐため、広報紙等による啓発活動のほか、消費生活サポーターとの連携による幅広い年齢層への情報提供を行ってまいります。

次に、新庁舎建設について申し上げます。

平成17年の合併以来、より一層質の高い市民サービスを行うとともに、効率的な行政運営と市のさらなる発展につながるよう進めてまいりました一大事業は、いよいよ完成を迎えようとしております。

現在、建設工事は概ね完了し、消防や建築確認などの各種検査を行っております。建物は、3月16日に引き渡しを受け、4月26日の月曜日から新庁舎で業務が開始できるように移転等の準備を進めております。

なお、4月17日に予定している竣工式と、その終了後及び翌18日の見学会については、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえつつ、開催準備を進めているところであります。

次に、行政改革の推進について申し上げます。

行政改革の推進については、昨年、新たに策定した「第4次旭市行政改革アクションプラン」を指針として、第2期総合戦略の実現を目指すために必要な、将来にわたって持続可能な行財政運営基盤の確立が図れるよう、職員一丸となり取り組んでまいります。

自主財源の安定的な確保については、税を中心とした債権の回収に、積極的に取り組んでまいります。市民負担の公平性を確保するため、債権所管課相互の連携を図りながら、徹底した収納業務に努めてまいります。

全ての公共施設の具体的な長寿命化や、再編の方策・時期などを定めた個別施設計画については、計画を着実に推進し、資産コストの削減と公共施設全体の適正配置を目指します。

次に、令和3年度の予算編成方針について申し上げます。

本市の財政状況は、これまで定員適正化や行政改革を着実に推進してきたことなどにより、令和元年度決算においても良好な結果となったところではありますが、令和3年度では新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、歳入面においては市税をはじめとした自主財源の減収が見込まれ、また、歳入総額に占める割合の最も高い普通交付税は、合併算定替による特例的な財政措置が終了することから、今後も歳入を取り巻く環境は一段と厳しくなることが予想されております。

一方、歳出面においては、安全・安心なまちづくりや産業の振興、人口減少対策等を積極的に推進していく中、新型コロナウイルス感染症対策や「新しい生活様式」への対応といった新たな行政需要、高齢化等の進行による社会保障関係経費の増加なども見込まれ、さらには「生涯活躍のまち形成事業」といった市政発展のために必要不可欠な事業の進捗により、市の財政需要は今後も増加していくものと見込まれております。

このような状況の中、令和3年度の予算編成にあたっては、今後予想される厳しい財政状況を念頭に置き、歳出の見直しを進めながら「第2期旭市総合戦略」などの各種計画に掲げる諸施策を着実に推進しつつ、新型コロナウイルス感染症対策を引き続き行いながら、本市の一体性の確立と均衡ある発展を目指すことを基本とし、一般会計の予算額を298億9,000万円としたものであります。

特別会計は、病院事業債管理、国民健康保険事業、後期高齢者医療、介護保険事業で、174億1,500万円、企業会計は、水道事業、公共下水道事業、農業集落排水事業で、25億5,198万円となり、市全体の当初予算の規模を498億5,698万円としたところであります。

続いて、本議会に提案いたしました各議案の提案理由を申し上げます。

議案第1号は、令和3年度旭市一般会計予算の議決についてでありまして、予算規模は、歳入歳出それぞれ298億9,000万円であります。

歳入の主なものは、1款市税に71億6,577万9,000円、10款地方交付税に84億2,000万円、14款国庫支出金に32億4,846万9,000円、15款県支出金に18億3,714万2,000円、21款市債に35億210万円を計上いたしました。

次に、歳出の主なものは、2款総務費に40億3,118万1,000円、3款民生費に94億2,380万1,000円、4款衛生費に40億643万2,000円、8款土木費に33億7,689万円、10款教育費に29億5,136万6,000円、12款公債費に32億5,036万3,000円を計上したところであります。

議案第2号は、令和3年度旭市病院事業債管理特別会計予算の議決についてでありまして、予算の規模を、歳入歳出それぞれ27億9,400万円とするものであります。

議案第3号は、令和3年度旭市国民健康保険事業特別会計予算の議決についてでありまして、予算の規模を、歳入歳出それぞれ事業勘定で84億8,000万円、施設勘定で8,400万円とするものであります。

議案第4号は、令和3年度旭市後期高齢者医療特別会計予算の議決についてでありまして、予算の規模を、歳入歳出それぞれ7億4,800万円とするものであります。

議案第5号は、令和3年度旭市介護保険事業特別会計予算の議決についてでありまして、予算の規模を、歳入歳出それぞれ53億900万円とするものであります。

議案第6号は、令和3年度旭市水道事業会計予算の議決についてでありまして、年度末の給水件数を2万1,190件、年間給水量を632万4,001立方メートルと見込み、事業収益を16億5,969万9,000円と予定いたしました。

議案第7号は、令和3年度旭市公共下水道事業会計予算の議決についてでありまして、年

年度末の供用面積を202ヘクタール、年間有収水量を60万7,610立方メートルと見込み、事業収益を5億4,695万9,000円と予定いたしました。

議案第8号は、令和3年度旭市農業集落排水事業会計予算の議決についてでありまして、年度末の供用面積を48ヘクタール、年間有収水量を13万8,965立方メートルと見込み、事業収益を6,841万円と予定いたしました。

議案第9号は、令和2年度旭市一般会計補正予算の議決についてでありまして、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ6億5,000万円を追加し、予算の総額を482億1,900万円とするものであります。

議案第10号は、令和2年度旭市介護保険事業特別会計補正予算の議決についてでありまして、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億6,300万円を追加し、予算の総額を54億800万円とするものであります。

議案第11号は、旭市多世代交流施設の設置及び管理に関する条例の制定についてでありまして、子どもを中心とした多世代間の交流を促進し、互いに触れ合う空間を提供する多世代交流施設を設置するため、条例を制定するものであります。

議案第12号は、旭市職員の分限に関する手続及び効果に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでありまして、地方公務員法第28条第4項の規定に基づく失職の特例を定めるため、所要の改正を行うものであります。

議案第13号は、旭市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定についてでありまして、地方税法施行令の改正に伴い、所要の改正を行うものであります。

議案第14号は、旭市諸収入金の延滞金徴収に関する条例等の一部を改正する条例の制定についてでありまして、地方税法の改正に伴い、関係する条例について所要の改正を行うものであります。

議案第15号は、旭市介護保険条例の一部を改正する条例の制定についてでありまして、第8期介護保険事業計画に基づく介護保険料の改定及び介護保険法施行令等の一部改正に伴い、所要の改正を行うものであります。

議案第16号は、旭市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定についてでありまして、指定居宅介護支援事業等の事業の人員及び運営に関する基準及び指定居宅サービス等の人員、設備及び運営に関する基準等に関する省令の一部改正に伴い、所要の改正を行うものであります。

議案第17号は、旭市コミュニティ施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

の制定についてでありまして、農村環境改善センターを廃止するため、所要の改正を行うものであります。

議案第18号は、旭市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでありまして、本年4月からのごみ処理広域化に伴い、ごみ処理業務が東総地区広域市町村圏事務組合に移管されることから、所要の改正を行うものであります。

議案第19号は、旭市農産物処理加工センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでありまして、岩井都市農村交流ステーションを廃止し、新たに旭市海上農産物処理加工センターを設置するため、所要の改正を行うものであります。

議案第20号は、旭市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでありまして、老朽化した神西住宅及び双葉団地の一部を用途廃止することに伴い、所要の改正を行うものであります。

議案第21号は、旭市図書館設置条例の一部を改正する条例の制定についてでありまして、旭市図書館の機能移転に伴い、所要の改正を行うものであります。

議案第22号は、旭市塵芥焼却場の設置等に関する条例を廃止する条例の制定についてでありまして、本年4月からのごみ処理広域化に伴い、旭市塵芥焼却場を廃止するため、条例を廃止するものであります。

議案第23号は、地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院定款の一部変更についてでありまして、病理診断体制の維持・充実を図るための遠隔病理画像診断センターの開設にあたり、同病院定款の一部を変更する必要があることから、地方独立行政法人法第8条第2項の規定により、議会の議決を求めるものであります。

議案第24号は、地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院第2期中期計画の変更に係る認可についてでありまして、同病院から遠隔病理画像診断の実施等について、第2期中期計画の変更に係る認可申請があったことから、認可にあたり、地方独立行政法人法第83条第3項の規定により、議会の議決を求めるものであります。

議案第25号は、和解及び損害賠償の額を定めることについてでありまして、排水路整備工事に起因して生じた農作物への損害に係る損害賠償の額を定めることについて、地方自治法第96条第1項第12号及び第13号の規定により、議会の議決を求めるものであります。

議案第26号は、指定管理者の指定についてでありまして、飯岡福祉センターの指定管理者を指定するにあたり、議会の議決を求めるものであります。

議案第27号は、市道路線の認定についてでありまして、道路整備等により4路線を認定す

るにあたり、議会の議決を求めるものであります。

議案第28号から議案第30号までは、専決処分の承認についてでありまして、いずれも新型コロナウイルス感染症対応に係る補正予算についてであります。

議案第28号、令和2年度旭市一般会計補正予算（第6号）については、ひとり親世帯臨時特別給付金の再支給に係る経費を、議案第29号、令和2年度旭市一般会計補正予算（第7号）については、新型コロナウイルスワクチン接種に係る経費を、議案第30号、令和2年度旭市一般会計補正予算（第8号）については、新型コロナウイルス感染症対策に係る経費を、それぞれ専決処分したものであります。

以上、新年度を迎えるにあたり、市政運営に対する基本的な考え方を示し、重点的に取り組む施策の概要とともに今回提案いたしました各議案の趣旨をご説明いたしました。

詳しくは事務担当者から説明し、また、ご質問に応じてお答えいたしますので、なにとぞご賛同賜りますよう、お願い申し上げます。

○議長（木内欽市） 施政方針並びに提案理由の説明は終わりました。

会議の途中ですが、ここで11時10分まで休憩いたします。

休憩 午前10時58分

再開 午前11時10分

○議長（木内欽市） 休憩前に引き続き会議を開きます。

◎日程第8 議案の補足説明

○議長（木内欽市） 日程第8、議案の補足説明。

議案の補足説明を求めます。

議案第1号について、財政課長、登壇してください。

（財政課長 伊藤義隆 登壇）

○財政課長（伊藤義隆） 議案第1号、令和3年度旭市一般会計予算の議決について、補足説明を申し上げます。

予算書をご用意いただきたいと思えます。

予算の内容について、前年度と比較しながら主なものを説明いたします。

それでは、1ページをお開きください。

第1条は、歳入歳出予算の総額を298億9,000万円と定めるもので、対前年度80億5,000万円、21.2%の減となりました。

第2条の債務負担行為、第3条の地方債につきましては、後ほど説明いたします。

第4条は、一時借入金の限度額を20億円と定めるものです。

第5条は、歳出予算中、各項の間で流用できる経費を、給料、職員手当等及び共済費と定めるものです。

9ページをお願いいたします。

第2表、債務負担行為です。

表の一番上、農業近代化資金利子補給から一番下の交通安全施設維持補修委託料まで10項目ございます。それぞれ記載のとおり、期間と限度額を設定するものです。

10ページをお願いいたします。

第3表、地方債です。

起債の目的と限度額、起債の方法、利率、償還の方法を定めるもので、総額として、35億210万円を計上しております。

それでは、歳入から順を追って説明いたします。

13ページをお願いいたします。

1款市税のうち、1項1目個人市民税は、対前年度比4.6%の減で、29億9万9,000円を見込みました。

2目法人市民税は、対前年度比4.4%の減で、3億5,756万6,000円を見込みました。

2項1目固定資産税は、対前年度比4.4%の減で、29億2,312万4,000円を見込みました。

14ページをお願いいたします。

3項軽自動車税のうち、1目環境性能割は、対前年度比7.6%の増で、868万3,000円を見込みました。

2目種別割は、対前年度比2.3%の減で、2億1,968万6,000円を見込みました。

4項1目市たばこ税は、対前年度比2.1%の増で、5億61万3,000円を見込みました。

次に、15ページの下になります。

2款地方譲与税から18ページの11款交通安全対策特別交付金までにつきましては、地方財

政計画や県の推計などを考慮して見込んだもので、主なものを申し上げますと、15ページの一番下、2款2項1目自動車重量譲与税は、対前年度比11.7%の減で、2億3,500万円を見込みました。

17ページをお願いいたします。

7款地方消費税交付金は、対前年度比2.0%の増で、14億8,000万円を見込みました。

18ページをお願いいたします。

9款2項1目地方税減収補填特別交付金は、新型コロナ対策として軽減を行った固定資産税の減収分を補填するために創設された新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金で、8,600万円を見込みました。

10款地方交付税については、普通交付税については、合併算定替による特例的な財政措置の終了などによる減、特別交付税は、広域ごみ処理施設整備事業に係る震災復興分の大幅な減を見込み、地方交付税全体では、対前年度比32.5%の減で、84億2,000万円を見込みました。

22ページをお願いいたします。

14款国庫支出金です。

1項1目民生費国庫負担金は、対前年度比0.7%の増となっておりますが、これは主に、1節社会福祉費国庫負担金の増などによるものです。

23ページの下になります。

2項1目総務費国庫補助金は、対前年度比43.7%の大幅な増となっておりますが、これは主に、1節総務管理費国庫補助金、説明欄1の地方創生推進交付金の増によるものです。

24ページをお願いいたします。

2目民生費国庫補助金は、対前年度比8.3%の増となっております。これは主に、2節児童福祉費国庫補助金、説明欄3、子どものための教育・保育給付交付金の増などによるものです。

4目土木費国庫補助金は、対前年度比13.0%の減となっております。主な要因は、1節道路橋梁費国庫補助金の説明欄1、社会資本整備総合交付金の減によるものです。

26ページをお願いいたします。

15款県支出金です。

1項1目民生費県負担金は、対前年度比1.8%の増で、主な要因は、1節社会福祉費県負担金、説明欄1、障害者自立支援給付費等負担金の増によるものです。

27ページをお願いいたします。

2項2目民生費県補助金は、対前年度比36.2%の減で、主な要因は、2節老人福祉費県補助金、28ページをお願いいたします、説明欄4、介護施設等整備事業交付金の減によるものです。

3目衛生費県補助金は、対前年度比11.0%の増で、主な要因は、説明欄1、健康増進事業費補助金の増によるものです。

29ページになります。

4目農林水産業費県補助金は、対前年度比1.4%の増で、主な要因は、説明欄12、農産産地支援事業費補助金の増によるものです。

30ページをお願いいたします。

6目土木費県補助金は、対前年度比89.0%の大幅な減で、主な要因は、令和元年台風15号に対する被災住宅修繕緊急支援事業補助金の終了によるものです。

31ページになります。

3項2目民生費委託金は、対前年度比93.5%の大幅な減で、主な要因は、令和元年台風15号などに係る災害救助費委託金の減によるものです。

33ページをお願いいたします。一番下になります。

18款繰入金です。

34ページをお願いいたします。

2項1目財政調整基金繰入金は、対前年度8,800万円増の3億5,400万円を計上しました。

2目庁舎整備基金繰入金は、対前年度7億4,770万円減の1,600万円を計上しました。

3目災害復興基金繰入金は、対前年度8,206万1,000円減の6,919万1,000円を計上しました。

4目地域復興基金繰入金は、対前年度2,429万9,000円減の6億121万1,000円を計上しました。

5目ふるさと応援基金繰入金は、対前年度1,873万円増の8,399万円を計上しております。

その下、東日本大震災復興交付金基金繰入金は、令和2年度末をもって東日本大震災復興交付金基金が終了となることから、廃目となります。

38ページをお願いいたします。

21款市債です。

1項1目総務債は、1億8,750万円で、新庁舎建設事業債を計上しております。

2目農林水産業債は、6,250万円で、説明欄記載の3本を計上しております。

3目土木債は、14億400万円で、説明欄記載の9本を計上しております。

4目消防債は、5,840万円で、説明欄記載の2本を計上しております。

5目教育債は、6億970万円で、説明欄記載の4本を計上しております。

なお、対前年度比4億2,920万円増の主な要因は、第二市民会館の改修工事、サッカーグラウンド整備工事などによるものです。

6目臨時財政対策債は、11億8,000万円で、国の地方財政計画などから、対前年度5億円の増を見込んでおります。

39ページになります。

市債の合計は、35億210万円で、対前年度27億4,420万円の減となっております。

以上で、歳入の説明を終わります。続きまして、歳出について前年度と比較しながら、主な事業を説明させていただきます。

それでは、42ページをお願いいたします。

1款1項1目議会費は、対前年度比0.5%の増で、2億435万1,000円を計上いたしました。次に、2款総務費です。

54ページをお願いいたします。

2目人事管理費は、対前年度比4.9%の増で、主な要因は、56ページをお願いいたします、下段になります、説明欄3、一部事務組合等負担金の千葉県市町村共済組合負担金旭中央病院分の増などによるものです。

少し飛びまして、62ページをお願いいたします。

7目企画費は、対前年度比7.2%の増で、主な要因は、66ページをお願いいたします、説明欄8、生涯活躍のまち形成事業の増などによるものです。

74ページをお願いいたします。

11目庁舎建設費は、新庁舎の完成によりまして、対前年度38億935万2,000円の大幅な減となっております。

なお、14節工事請負費については、旧庁舎等の解体工事に係るものです。

85ページをお願いいたします。

4項2目衆議院議員選挙・最高裁判所裁判官国民審査費と、86ページをお願いいたします、3目市長選挙費、88ページをお願いいたします、4目市議会議員選挙費については、令和3年度に執行予定の選挙に係る経費を計上したものです。

次に、3款民生費です。

少し飛びまして、102ページをお願いいたします。

1項2目障害者福祉費は、対前年度比2.6%の増で、主な要因は、106ページをお願いいたします、説明欄11、自立支援給付事業のうち、107ページになります、19節扶助費の増によるものです。

113ページをお願いいたします。

2項3目生活支援費は、対前年度比80.9%の大幅な減で、主な要因は、114ページの下段になります、説明欄8、地域密着型サービス拠点等整備事業の減によるものです。

少し飛びまして、126ページをお願いいたします。

3項5目障害児福祉費は、対前年度比34.9%の増で、主な要因は、説明欄1、障害児通所支援事業の増によるものです。

次に、4款衛生費です。

少し飛びまして、141ページをお願いいたします。

1項2目予防費は、対前年度比13.2%の増で、主な要因は、144ページをお願いいたします、説明欄6、感染症予防対策事業のうち、145ページになります、19節扶助費の高齢者インフルエンザワクチン接種費用助成金が事業の拡充に伴い、増となったことによるものです。

150ページをお願いいたします。

4目環境衛生費は、対前年度45億8,365万8,000円の大幅な減で、主な要因は、説明欄2、環境衛生事務費のうち、151ページになります、18節負担金補助及び交付金のうち、東総地区広域市町村圏事務組合負担金が広域ごみ処理施設建設工事の完了に伴い、大幅に減となったことによるものです。

158ページをお願いいたします。

2項1目塵芥処理費は、対前年度比57.7%の大幅な減で、主な要因は、広域ごみ処理施設への移行に伴い、説明欄1、塵芥処理施設関係職員給与費及び、159ページになります、説明欄3、塵芥処理施設運営費が大幅に減となったことによるものです。

162ページをお願いいたします。

5款労働費については、対前年度比4.9%の増となっております。

次に、6款農林水産業費です。

167ページをお願いいたします。

1項3目農業振興費は、対前年度比3.3%の減で、主な要因は、169ページの下段になります、説明欄8、園芸生産強化支援事業の減によるものです。

173ページをお願いいたします。

4目畜産振興費は、対前年度比15.1%の増で、主な要因は、説明欄2、家畜防疫対策事業の増や、174ページの上段になります、説明欄4、畜産環境フレッシュ事業の増によるものです。

次に、7款商工費です。

少し飛びまして、185ページをお願いいたします。

1項2目商工振興費は、対前年度比25.6%の増で、主な要因は、187ページ上段になります、説明欄4、商業活性化推進事業のうち、商店街振興事業補助金のプレミアム付商品券事業を拡充するため、大幅に増額したことによるものです。

次に、8款土木費になります。

少し飛びまして、198ページをお願いいたします。

2項2目道路維持費は、対前年度比25.8%の増で、主な要因は、199ページの下になります、説明欄2、道路維持補修事業の増によるものです。

201ページをお願いいたします。

3目道路新設改良費は、対前年度比4.4%の減で、主な要因は、説明欄3、蛇園南地区排水路整備事業の新設や、202ページになります、説明欄4、飯岡海上連絡道三川蛇園線整備事業の増などがあったものの、203ページになります、説明欄6、震災復興・津波避難道路整備事業の減や、昨年度計上していた旭中央病院アクセス道整備事業の減などにより、全体として減となったものです。

210ページをお願いいたします。

4項1目住宅管理費は、対前年度1億7,625万8,000円の大幅な減で、主な要因は、昨年度計上していた、被災住宅修繕緊急支援事業補助金の減によるものです。

次に、9款消防費です。

少し飛びまして、216ページをお願いいたします。

1項1目常備消防費は、対前年度比2.6%の増で、主な要因は、218ページになります、説明欄4、消防車両整備事業の増によるものです。

少し飛びまして、221ページをお願いいたします。

1項3目災害対策費は、対前年度1億2,399万9,000円の大幅な減で、主な要因は、223ページになります、説明欄3、防災行政無線等整備事業の減によるものです。

次に、10款教育費です。

少し飛びまして、236ページをお願いいたします。

2項2目教育振興費は対前年度比17.7%の減で、主な要因は、説明欄2、小学校教材備品等購入事業の教育用備品費が減となったことによるものです。

少し飛びまして、267ページをお願いいたします。

4項9目ユートピアセンター費は、対前年度比34.3%の増で、主な要因は、269ページになります、14節工事請負費の空調工事改修工事の増によるものです。

273ページをお願いいたします。

11目キャンプ場費は、対前年度比54.2%の大幅な減で、主な要因は、昨年度計上していた海上キャンプ場改修工事の完了によるものです。

275ページをお願いいたします。

13目社会教育施設再編費は、対前年度比49.5%の増で、主な要因は、説明欄1、社会教育施設再編事業が、第二市民会館の改修工事などにより、増となったことによるものです。

279ページをお願いいたします。

5項2目体育施設費は、対前年度4億809万円の大幅な増で、主な要因は、285ページになります、説明欄7、サッカー場整備事業の増によるものです。

3目学校給食費は、対前年度比5.1%の増で、主な要因は、286ページになります、説明欄3、第一学校給食センター管理費のうち、287ページになります、14節工事請負費の給食センター施設改修工事の増によるものです。

次に、12款公債費です。

少し飛びまして、296ページをお願いいたします。

1項1目元金は、対前年度比6.4%の増、2目利子は、対前年度比1.9%の減となっております。

次に、13款諸支出金です。

298ページをお願いいたします。

2項1目水道事業公営企業費は、対前年度比13.8%の減で、主な要因は、配水管布設工事の減によるものです。

300ページをお願いいたします。

14款の予備費は、前年度と同額の5,000万円を計上しております。

以上で、歳出の主な内容についての説明を終わりました、続きまして、その下301ページをお願いいたします。

ここから308ページまでは、給与費明細書となっております。

1、特別職の表は、長等、議員、その他の特別職について、本年度と前年度を比較したものです。

下から2段目、その他の特別職が280人増となっておりますが、これは主に、令和3年度中に予定している選挙に係る投票管理者等を計上していることによるものです。

302ページをお願いいたします。

2、一般職のうち、(1)の総括は、一般職の職員数、給与費、共済費については前年度と比較したもので、会計年度任用職員を含めた表です。

303ページをお願いいたします。

これは、一般職のうち、会計年度任用職員以外の職員の表です。

会計年度任用職員以外の職員数は、前年度と比べて6人の減で、金額は合計で4,057万6,000円の減となっております。

304ページをお願いいたします。

これは、会計年度任用職員の表となっております。

職員数は、フルタイム会計年度任用職員の数で、括弧内は、パートタイム会計年度任用職員の外書きとなります。

会計年度任用職員の給与費等の合計は7億3,405万円で、前年度と比べて2,475万1,000円の減となっております。

その他の内容は、305ページ以降に記載のとおりでございます。

次に、309ページをお願いいたします。

ここから311ページまでは、債務負担行為に関する調書で、支出が令和3年度以降にわたるものについての支出予定額等を記載したものです。

最後に、312ページをお願いいたします。

この表は、地方債に関する調書です。

一番下の計の欄をご覧ください。左から順に、令和元年度末の現在高が284億830万5,000円、その右が令和2年度末現在高見込額で326億9,069万7,000円、その右が令和3年度中の起債見込額で35億210万円、その右が令和3年度中の元金償還見込額で31億2,192万4,000円です。一番右は、令和3年度末の現在高見込額で330億7,087万3,000円です。

以上で、議案第1号の補足説明を終わります。

○議長（木内欽市） 財政課長の補足説明が終わりました。

議案第2号について、企画政策課長、登壇してください。

(企画政策課長 小倉直志 登壇)

○企画政策課長(小倉直志) 議案第2号、令和3年度旭市病院事業債管理特別会計予算の議決について、補足説明申し上げます。

予算書の313ページをお開きください。

第1条にありますように、歳入歳出予算の総額をそれぞれ27億9,400万円といたしました。少し飛びまして、319ページをお願いいたします。

歳入の1款諸収入として、貸付金元利収入21億4,400万円を計上しました。これは、病院事業債の元利償還金分として旭中央病院から入ってくる収入でございます。

また、2款市債として、病院債6億5,000万円を計上しました。これは、法人が行う医療機器を購入するために貸し付ける長期貸付金の財源として借り入れるものでございます。

320ページをお願いいたします。

歳出の1款事業費ですが、貸付金として6億5,000万円を計上しました。これは、歳入で計上しました病院債をそのまま法人に貸し付けるものでございます。

2款公債費は、1目元金18億516万7,000円及び2目利子3億3,883万3,000円、合わせまして21億4,400万円を計上しました。これは、歳入で計上しました貸付金元利収入をそのまま償還するものでございます。

321ページをご覧ください。

説明申し上げました歳入歳出の結果、令和3年度末の病院債現在高は、表の一番右側になりますけれども、211億6,099万8,000円と見込んでおります。

以上です。

○議長(木内欽市) 企画政策課長の補足説明は終わりました。

議案第3号、議案第4号について、保険年金課長、登壇してください。

(保険年金課長 在田浩治 登壇)

○保険年金課長(在田浩治) 議案第3号、令和3年度旭市国民健康保険事業特別会計予算の議決について、補足説明を申し上げます。

予算書の323ページをお願いいたします。

第1条は、歳入歳出予算の総額を事業勘定84億8,000万円、施設勘定8,400万円と定めるものでございます。

第2条の一時借入金は、限度額を事業勘定1億円、施設勘定1,000万円と定めるものでございます。

第3条は、歳出予算中、款内において流用できる経費を保険給付費と定めるものでございます。

次の324ページから332ページまでは、歳入歳出の項立て予算及び事項別明細書の総括でございますので、説明を省略させていただきまして、詳細につきましては、333ページ以降で説明いたします。

それでは、333ページをお願いいたします。

初めに、事業勘定の歳入からご説明します。

1款国民健康保険税は、334ページに移りまして、総額で17億3,380万2,000円、前年度と比較して、8.0%の減を見込みました。主な要因は、新型コロナウイルス感染症の影響による収入減少や被保険者数の減少に伴う、調定額の減少によるものです。

4款国庫支出金は、335ページに移りまして、総額で357万7,000円、49.5%の減を見込みました。法改正に伴うシステム改修費全額の交付を見込んでおります。令和2年度改修費用との差額分が減少すると見込んでおります。

5款県支出金は、59億4,819万9,000円、0.9%の減となりました。説明欄記載の保険給付費等普通交付金が58億1,015万5,000円、保険給付費等特別交付金が1億3,804万4,000円となりました。主な要因は、保険給付費等普通交付金の減少であり、歳出の保険給付費の減少に連動したものです。金額は、県が決定しております。

7款1項1目一般会計繰入金は、全部法定の繰入金でありまして、4億8,787万5,000円、0.6%の減を見込みました。

336ページをお願いいたします。

2項1目財政調整基金繰入金は、税収の減収を補填するため、2億8,000万円を見込みました。

9款1項1目延滞金及び過料には、2,000万1,000円、前年度と同額を見込みました。

337ページをお願いいたします。

3項雑入は、第三者納付金や返納金などでありまして、総額は629万2,000円、76.5%の減を見込みました。減少の主な要因は、旭中央病院が実施する人間ドックの一部負担金徴収を令和3年度から旭中央病院が行うこととなるためであります。

338ページをお願いいたします。

後期高齢者医療広域連合受託事業収入は、会計移行のため廃目となりました。

続きまして、歳出についてご説明いたします。

339ページをお願いいたします。

1 款 1 項総務管理費は3,301万8,000円、前年度と比較して、5.4%の減を見込みました。主な要因は、国民健康保険一般事務費の減少であり、法改正に伴うシステム改修費の減少によるものでございます。

340ページをお願いいたします。

2 項徴税費は、税務の事務費として1,644万6,000円を見込みました。

341ページをお願いいたします。

2 款 1 項療養諸費は、342ページに移りまして、総額で50億6,515万3,000円、1.0%の減となりました。主な要因は、被保険者数の減少によるものです。

343ページをお願いいたします。

2 項高額療養費は、総額で7億4,900万1,000円、0.7%の増となりました。

344ページをお願いいたします。

4 項出産育児諸費は2,941万5,000円、前年度と同額を見込みました。

345ページをお願いいたします。

3 款保険事業費納付金は、346ページに移りまして、総額で24億2,168万6,000円、0.8%の減となりました。納付金は、歳入の県支出金、保険給付費等普通交付金の原資として、県に納付するものでございます。

4 款保健事業費は8,374万5,000円、33.3%の減を見込みました。主なものは、説明欄 1、特定健康診査等事業5,500万6,000円、347ページに移りまして、説明欄 3、短期人間ドック事業2,310万円などでございます。減少の主な要因は、後期高齢者健康診査事業等の会計移行や旭中央病院短期人間ドック費用の支払いの方法の変更によるものでございます。

少し飛びまして、350ページをお願いいたします。

7 款 3 項 1 目直営診療施設補助金は2,070万円、21.1%の増を見込みました。本補助金は、旭中央病院の運営や各種事業に対し、補助金を交付するものでございます。

4 項 1 目施設勘定繰出金は30万円、前年度と同額を見込みました。本繰出金は、滝郷診療所の運営に対する繰出金でございます。

351ページに移りまして、8 款予備費は3,000万円、前年度と同額を見込みました。

352ページから353ページは、給与費明細書となります。

続きまして、施設勘定、歳入についてご説明いたします。

飛びまして、357ページをお願いいたします。

1 款 1 項外来収入の総額は5,550万8,000円、前年度と比較して、15.8%の減を見込みました。減少の要因は、新型コロナウイルス感染症の流行を加味し、外来患者数の減少を見込んでいるためでございます。

2 項その他の診療収入は533万8,000円、各種健診や予防接種などの収入を見込みました。359ページをお願いいたします。

4 款 1 項他会計繰入金は740万円、前年度と同額を見込みました。

2 項基金繰入金は、診療収入の減収を補填するため、1,400万円を見込みました。

5 款繰越金は、115万4,000円を見込みました。

続きまして、歳出についてご説明いたします。

361ページをお願いいたします。

1 款 1 項施設管理費は4,957万9,000円、前年度と比較して7.2%の増となりました。看護師の確保と待遇改善を図るため、職員給与費の増額やオンライン資格確認等システムの導入業務委託料などを見込みました。

364ページをお願いいたします。

2 款 1 項医業費は、365ページに移りまして、総額で3,225万7,000円、6.7%の減を見込みました。外来患者数の減少に伴う、医薬品衛生材料費の減少を見込んでおります。

366ページをお願いいたします。

6 款予備費は200万円、前年度と同額を見込みました。

367ページから372ページは、給与費明細書となります。

以上で、議案第3号の補足説明を終わりにさせていただきます。

続きまして、議案第4号、令和3年度旭市後期高齢者医療特別会計予算の議決について、補足説明を申し上げます。

予算書の373ページをお願いいたします。

第1条は、歳入歳出予算の総額を7億4,800万円と定めるものでございます。

次の374ページから378ページまでは、歳入歳出の項立て予算及び事項別明細書の総括でございますので、説明を省略させていただきます。詳細につきましては、379ページ以降でご説明いたします。

それでは、379ページをお願いいたします。

初めに、歳入からご説明いたします。

1 款保険料は、総額で5億2,216万8,000円、前年度と比較して、2.5%の増を見込みまし

た。要因は、軽減特例の見直しと被保険者数の増加によるものでございます。

2 款繰入金は、1 億9,196万6,000円、4.5%の増となりました。一般会計からの繰入れで、説明欄記載の市で行う後期高齢者医療事務に要する費用に充てるため、事務費分が2,199万7,000円、保険料軽減分に対する保険基盤安定繰入金が1 億6,996万9,000円を見込みました。保険基盤安定繰入金につきましては、全額広域連合へ支出いたします。

3 款繰越金は、前年度と同額の500万円を見込みました。

380ページをお願いいたします。

4 款諸収入、2 項償還金及び還付加算金は、199万4,000円を見込みました。これは、歳出の4 款諸支出金で支出した償還金及び還付加算金について、全額広域連合から補填されるものでございます。

3 項受託事業収入は2,686万9,000円を見込みました。広域連合から受託事業に係る収入で、健康診査事業を国民健康保険事業特別会計より移行したため、増額となりました。

続きまして、歳出についてご説明いたします。

382ページをお願いいたします。

1 款1 項1 目一般管理費は2,075万1,000円、8.9%の増を見込みました。これは、広域連合に代わって各種届出を処理するための事務的経費で、増加の要因はコンビニ収納に対応するためのシステム改修等によるものでございます。

383ページをお願いいたします。

2 項1 目徴収費は、保険料の徴収に要する経費で、264万8,000円を見込みました。

2 款広域連合納付金は6 億9,213万7,000円、2.9%の増を見込みました。徴収した保険料と、保険料の軽減分に対する繰入額を全額広域連合へ支出するものでございます。

384ページをお願いいたします。

3 款保健事業費は2,546万7,000円を見込みました。令和3 年度より、後期高齢者医療被保険者の健康診査事業を国民健康保険事業特別会計より移行し、実施するものでございます。

4 款諸支出金は199万7,000円を見込みました。これは、過年度分の納め過ぎた保険料を精算するためのものでございます。

385ページをお願いいたします。

5 款予備費は、前年度と同額の500万円を見込みました。

386ページは、給与明細書になります。

以上で、議案第4 号の補足説明を終わりにさせていただきます。

○議長（木内欽市） 議案の補足説明は途中ですが、昼食のため1時5分まで休憩いたします。

休憩 午後 零時 3分

再開 午後 1時 5分

○議長（木内欽市） 休憩前に引き続き会議を開きます。

議案第5号について、高齢者福祉課長、登壇してください。

（高齢者福祉課長 赤谷浩巳 登壇）

○高齢者福祉課長（赤谷浩巳） 議案第5号、令和3年度旭市介護保険事業特別会計予算の議決について、補足説明を申し上げます。

恐れ入ります、予算書の387ページをお願いいたします。

第1条は、歳入歳出予算の総額を53億900万円と定めるものです。

第2条は、歳出予算中、各項の間で流用できる経費を定めるものです。

次の388ページから391ページは、歳入歳出予算の款項ごとの金額であり、393ページと394ページは事項別明細書の総括となっておりますので、説明を省略させていただきまして、395ページの歳入から、予算の内容について主なものをご説明いたします。

395ページをお願いいたします。

1款保険料、1項1目第1号被保険者保険料は12億928万9,000円で、保険料基準額は年額6万4,800円、第8期介護保険事業計画の中で、高齢者人口の増等に伴う介護サービス給付費の伸びに対応するため、保険料の改定を行い、対前年度比3.9%の増で計上いたしました。

内訳は、現年度分の調停見込額の90.8%に当たる1節現年度分特別徴収保険料を、収納率100%で11億789万1,000円を見込み、2節現年度分普通徴収保険料は9,597万6,000円、3節過年度分普通徴収保険料は542万2,000円を見込みました。

2款国庫支出金、1項1目介護給付費負担金は8億7,574万5,000円、対前年度比1.1%の増を、2項1目調整交付金は1億7,370万7,000円、対前年度比15.5%の減で、2目地域支援事業交付金は8,810万7,000円、対前年度比12.6%の増でそれぞれ計上いたしました。

396ページをお願いいたします。

4目介護保険被保険者努力支援交付金は、令和2年度に新設された介護予防・健康づくりに資する取組を重点的に評価し交付される交付金で、571万1,000円で計上いたしました。

3 款支払基金交付金の計は13億7,266万5,000円で、対前年度比0.6%の増で計上いたしました。増となった主な理由は、介護給付費交付金の増によるものです。

4 款県支出金、1 項 1 目介護給付費負担金は7億2,935万7,000円、対前年度比1.2%の増で計上いたしました。

397ページをお願いいたします。

同じく4 款県支出金、2 項 1 目地域支援事業交付金は4,405万3,000円、対前年度比12.6%の増で計上いたしました。

6 款繰入金、1 項一般会計繰入金ですが、398ページをお願いいたします。計ですが、7億9,687万円で、対前年度比1.2%の増で計上いたしました。増となった主な理由は、介護給付費の増によるものです。

8 款諸収入ですが、399ページをお願いいたします。

2 項雑入のうち、2 目雑入は724万6,000円を計上いたしました。減となった主な理由は、介護予防ケアマネジメント費収入の減によるものです。

以上で、歳入の説明を終わります。

続きまして、400ページをお願いいたします。

歳出の主なものについてご説明いたします。

1 款総務費、1 項 1 目一般管理費は1,238万5,000円で、対前年度比26.9%の減で計上いたしました。

402ページをお願いいたします。

3 項 2 目認定調査費は2,480万円で、前年度とほぼ同額で計上いたしました。

404ページをお願いいたします。

2 款保険給付費、1 項 2 目地域密着型介護サービス給付費は7億7,683万5,000円で、対前年度比4.5%の増で計上いたしました。

406ページをお願いいたします。

2 項 1 目介護予防サービス給付費は3,578万9,000円、対前年度比23.7%の減で計上いたしました。

少し飛びまして、411ページをお願いいたします。

5 款地域支援事業費、1 項 1 目介護予防・生活支援サービス事業費は1億2,434万7,000円、対前年度比13.0%の減で計上いたしました。

414ページをお願いいたします。

3項1目包括的支援事業費は、地域包括支援センターを新規に委託するなどにより、1億1,495万8,000円、対前年度比59.8%の増で計上いたしました。

少し飛びまして、421ページをお願いいたします。

6款諸支出金の計は122万4,000円を計上いたしました。主なものは、1項1目第1号被保険者保険料還付金です。

7款の予備費は、前年度同様、1,000万円を計上いたしました。

422ページから428ページまでは、給与費明細書となっております。

最後のページの429ページは、債務負担行為の令和2年度末までの支出額及び令和3年度以降の支出予定額等に関する調書となっております。

以上で、議案第5号の補足説明を終わります。

○議長（木内欽市） 高齢者福祉課長の補足説明は終わりました。

議案第6号について、水道課長、登壇してください。

（水道課長 宮負 亨 登壇）

○水道課長（宮負 亨） 議案第6号、令和3年度旭市水道事業会計予算の議決についての補足説明を申し上げます。

恐れ入りますが、別冊の水道事業会計予算書をお手元にご用意のほど、お願いいたします。予算書の1ページをお願いいたします。

第1条は、総則となっております。

第2条は、業務の予定量で（1）給水件数2万1,190件に対し、年間給水量を632万4,001立方メートル、1日平均給水量を1万7,326立方メートルと予定をいたしました。

（2）主要な建設改良事業として、配水管布設工事に1,760万円、配水管布設替工事に4,733万3,000円を予定いたしました。

続きまして、2ページをお願いいたします。

第3条では、収益的収入及び支出の予定額を、それぞれ記載額のとおり定めました。

第4条では、資本的収入及び支出の予定額を、それぞれ次の3ページにかけまして記載額のとおり定めました。なお、資本的収支の不足額1億5,274万7,000円につきましては、過年度分損益勘定留保資金などで補填をいたします。

第5条は、一時借入金の限度額を8,000万円と定めるものでございます。

第6条は、予定支出の各項で流用ができる場合を定めるものでございます。

続いて、4ページをお願いいたします。

第7条は、議会の議決を経なければ、流用することができない経費を定めるものでございます。

第8条は、他会計からの補助金について、一般会計から水道事業会計への補助金として、7,918万7,000円を高料金対策に係る経費として受けることを記載したものでございます。

第9条は、棚卸資産の購入限度額を510万9,000円と定めるもので、これは量水器などの購入を予定したものでございます。

次のページからは、水道事業会計予算に関する説明書となっております。

5ページをお願いいたします。

令和3年度旭市水道事業会計予算実施計画となっております。

まず、第3条予算、収益的収入及び支出の収入につきまして、ご説明申し上げます。

1款水道事業収益を16億5,969万9,000円、前年度と比べ634万9,000円、0.4%の減を見込んでおります。

1項の営業収益は14億5,114万7,000円で、このうち主なものは、1目給水収益の14億3,997万5,000円で、これは年間有収水量を581万8,082立方メートルと見込んでおります。

2項の営業外収益は2億855万2,000円で、このうち主なものは、2目他会計補助金の7,976万3,000円で、高料金対策及び児童手当に要する経費として、一般会計からの補助金を見込んでおります。

また、3目補助金7,307万1,000円は、同じく高料金対策に要する経費として、千葉県市町村水道総合対策事業補助金を見込んでおります。

次に、6ページをお願いいたします。

支出についてご説明申し上げます。

1款水道事業費用は14億4,827万円で、前年度と比べ3,089万2,000円、2.1%の減を予定いたしました。

1項の営業費用は13億9,125万5,000円で、このうち主なものは、1目原水及び浄水費の8億3,100万5,000円と、5目減価償却費の2億3,621万3,000円でございます。

次の7ページは、第4条予算、資本的収入及び支出となります。

まず、上の段の収入についてご説明申し上げます。

1款資本的収入は3,833万3,000円で、前年度と比べ5,978万5,000円、60.9%の減を見込んでおります。主な内訳といたしまして、1項1目負担金の1,538万4,000円は、消火栓設置負担金及び配水管布設工事などの負担金を見込んでおります。

次に、下の段の支出についてご説明申し上げます。

1 款資本的支出は 1 億 9,108 万円で、前年度と比べ 4,427 万 7,000 円、18.8% の減を予定いたしました。主な内訳といたしまして、1 項建設改良費 1 億 2,703 万 3,000 円のうち、1 目拡張工事費は、配水管の布設工事や仕切弁の設置工事などで 4,197 万 1,000 円、2 目改良工事費は、配水管の布設替工事や道路事業などに伴う切り回し工事で 7,351 万 3,000 円、3 目固定資産取得費は、各配水場の設備の更新などで 1,154 万 9,000 円を予定いたしております。

次の 8 ページから 9 ページまでにつきましては、令和 3 年度旭市水道事業会計予定キャッシュ・フロー計算書となっております。

次の 10 ページから 13 ページまでは、職員給与関係の明細となっております。

続いて、14 ページから 16 ページにつきましては、令和 3 年度末の予定貸借対照表となっております。

続きまして、17 ページから 21 ページにつきましては、令和 2 年度の予定損益計算書及び令和 2 年度末の予定貸借対照表となっております。

次の 22 ページから 23 ページまでは、注記で会計処理の基準及び手続きを表示したものとなっております。

以上で、議案第 6 号、令和 3 年度旭市水道事業会計予算の議決についての補足説明を終わります。

○議長（木内欽市） 水道課長の補足説明は終わりました。

議案第 7 号、議案第 8 号について、下水道課長、登壇してください。

（下水道課長 丸山 浩 登壇）

○下水道課長（丸山 浩） それでは、議案第 7 号及び議案第 8 号について補足説明を申し上げます。

初めに議案第 7 号、令和 3 年度旭市公共下水道事業会計予算の議決について、補足説明を申し上げます。

別冊の予算書をお手元にご用意ください。

1 ページをお開き願います。

第 1 条は、総則となります。

第 2 条は、業務の予定量で、供用面積を 202 ヘクタール、年間有収水量を 60 万 7,610 立方メートルとし、1 日平均有収水量を 1,664.7 立方メートルと予定いたしました。

2 ページをお願いいたします。

第3条では、収益的収入及び支出の予定額を、それぞれ記載額のとおり定めました。

2ページの下から3ページをお願いいたします。

第4条では、資本的収入及び支出の予定額をそれぞれ記載額のとおり定めました。なお、資本的収支の不足額4,445万7,000円につきましては、引継金及び過年度分損益勘定留保資金で補填をいたします。

4ページをお願いいたします。

第5条は、企業債の限度額を7,340万円と定めるものです。

第6条は、一時借入金の限度額を1億6,000万円と定めるものです。

第7条は、予定支出の各項で流用することができる場合について定めるものです。

第8条は、議会の議決を経なければ流用することのできない経費について定めるものです。

次のページからは、令和3年度公共下水道事業会計予算に関する説明書となります。

5ページをお願いいたします。

令和3年度旭市公共下水道事業会計予算実施計画となります。

収益的収入及び支出における収入の部は、1款下水道事業収益を5億4,695万9,000円と見込んでおります。

1項の営業収益は1億1,064万3,000円で、このうち主なものとして、1目下水道使用料1億1,035万5,000円を見込んでおります。

2項の営業外収益は4億3,631万6,000円で、1目他会計負担金2億1,870万3,000円、2目長期前受金戻入2億1,761万2,000円を見込んでおります。

6ページをお願いいたします。

支出の部は、1款下水道事業費用を5億4,695万9,000円と予定いたしました。

1項の営業費用は4億8,417万7,000円で、このうち主なものは、2目処理場費1億6,430万円、4目減価償却費2億7,023万7,000円となっております。

2項の営業外費用は5,978万1,000円で、主なものは、1目支払利息及び企業債取扱諸費5,215万6,000円となっております。

7ページをお願いいたします。

資本的収入及び支出における収入の部は、1款資本的収入を2億3,447万6,000円と見込んでおります。

このうち主なものとして、1項1目企業債7,340万円、2項1目他会計負担金1億6,100万円を見込んでおります。

支出の部は、1款資本的支出を2億7,893万3,000円と予定いたしました。主なものは、1項1目企業債償還金で2億7,593万3,000円となっております。

次に、8ページから9ページまでは、令和3年度旭市公共下水道事業会計予定キャッシュ・フロー計算書となります。

10ページから13ページまでは、給与費明細書となります。

14ページから16ページにつきましては、令和3年度末の旭市公共下水道事業予定貸借対照表となります。

17ページにつきましては、令和2年度末の旭市公共下水道事業予定損益計算書となります。

18ページから20ページにつきましては、令和2年度末の旭市公共下水道事業予定貸借対照表となります。

最後に、21ページから22ページにつきましては、注記となります。内容につきましては、会計処理の基準及び手続きを記載したものとなっております。

以上で、議案第7号の補足説明を終わります。

続きまして、議案第8号、令和3年度旭市農業集落排水事業会計予算の議決について補足説明を申し上げます。

こちらにつきましても、別冊の予算書となります。

1ページをお開きください。

第1条は、総則となります。

第2条は、業務の予定量で、供用面積を48ヘクタール、年間有収水量を13万8,965立方メートルとし、1日平均有収水量を380.7立方メートルと予定いたしました。

2ページをお願いいたします。

第3条では、収益的収入及び支出の予定額を、それぞれ記載額のとおり定めました。

2ページの下から3ページをお願いいたします。

第4条では、資本的収入及び支出の予定額を、それぞれ記載額のとおり定めました。なお、資本的収支の不足額58万円につきましては、過年度分損益勘定留保資金で補填をいたします。

第5条は、一時借入金の限度額を1,000万円と定めるものでございます。

第6条は、予定支出の各項で流用することができる場合について定めるものです。

4ページをお願いいたします。

第7条は、議会の議決を経なければ流用することのできない経費について定めるものです。次のページからは、令和3年度農業集落排水事業会計予算に関する説明書となります。

5ページをお願いいたします。

令和3年度旭市農業集落排水事業会計予算実施計画となります。

収益的収入及び支出における収入の部は、1款下水道事業収益を6,841万円と見込んでおります。

1項の営業収益は、1目下水道使用料1,737万4,000円を見込んでおります。

2項の営業外収益は5,103万6,000円で、1目他会計負担金2,066万7,000円、2目長期前受金戻入3,036万8,000円を見込んでおります。

6ページをお願いいたします。

支出の部は、1款下水道事業費用を6,841万円と予定いたしました。

1項の営業費用は6,325万5,000円で、このうち主なものは、2目処理場費1,739万7,000円、4目減価償却費3,321万1,000円となっております。

2項の営業外費用は415万4,000円で、内訳は1目支払利息及び企業債取扱諸費277万円、2目消費税及び地方消費税138万4,000円となっております。

7ページをお願いいたします。

資本的収入及び支出における収入の部は、1款資本的収入を1,774万8,000円と見込んでおります。主なものは、1項1目他会計負担金で1,732万8,000円を見込んでおります。

支出の部は、1款資本的支出を1,832万8,000円と予定いたしました。主なものは、1項1目企業債償還金で1,732万8,000円と予定いたしました。

次に、8ページから9ページまでは、令和3年度旭市農業集落排水事業会計予定キャッシュ・フロー計算書となります。

10ページから13ページまでは、給与費明細書となります。

14ページから16ページにつきましては、令和3年度末の旭市農業集落排水事業予定貸借対照表となります。

17ページにつきましては、令和2年度末の旭市農業集落排水事業予定損益計算書となります。

18ページから20ページにつきましては、令和2年度末の旭市農業集落排水事業予定貸借対照表となります。

最後に、21ページから22ページにつきましては、注記となります。内容につきましては、会計処理の基準及び手続きを記載したものとなっております。

以上で、議案第8号の補足説明を終わります。

○議長（木内欽市） 下水道課長の補足説明は終わりました。

議案第9号について、財政課長、登壇してください。

（財政課長 伊藤義隆 登壇）

○財政課長（伊藤義隆） 議案第9号、令和2年度旭市一般会計補正予算の議決について、補足説明を申し上げます。

それでは、補正予算書の1ページをお願いいたします。

第1条は、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ6億5,000万円を追加し、予算の総額を482億1,900万円とするものです。

4ページをお願いいたします。

第2条繰越明許費補正です。上の表、追加は、10事業について繰越明許費を設定するものです。事業ごとに内容を申し上げますと、2款1項総務管理費、生涯活躍のまち形成事業は、各種許認可手続きに時間を要し、インフラ工事の年度内完了が見込めないため、対象となる補助金額を繰り越すものです。

次の広域情報ネットワーク運用事業は、新庁舎建設工事の工期延長に伴い、年度内の光ケーブル移設業務の完了が見込めないため、繰越しをするものです。

6款1項農業費、農業基盤整備事業は、県の土地改良事業が国の補正により予算がついたことから、前倒しで実施することとなったため、繰越しをするものです。

8款2項道路橋梁費、道路維持補修事業は、関係機関との協議に不測の期間を要したため、繰越しするものです。

次の道路新設改良事業は、近隣との調整や関係機関との協議に不測の日数を要したため、繰越しするものです。

次の旭中央病院アクセス道整備事業は、交差点などに係る警察との協議に不測の日数を要したため、繰越しするものです。

次の南堀之内バイパス整備事業は、工法の検討や関係地権者との協議に不測の日数を要したため、繰越しをするものです。

次の震災復興・津波避難道路整備事業は、警察との協議や補償物件の移転に不測の日数を要したため、繰越しするものです。

4項住宅費、被災住宅修繕支援事業は、令和元年の台風による被災住宅の修繕ですが、施工業者の不足や新型コロナ等の影響などにより、工事の施工が遅れているため、年度内の完了が困難となることから、繰越しするものです。

10款4項社会教育費、社会教育施設再編事業は、市図書館の東部図書館への移転が来年度となる見込みであることから、年度内での移転業務完了が困難なため、繰越しをするものです。

下の表は、繰越明許費の変更です。

10款2項小学校費、小学校施設改修事業及び3項中学校費、中学校施設改修事業につきましては、それぞれ嚶鳴小学校、海上中学校の空調更新工事に係るもので、いずれも国の交付金が前倒しで採択されたことにより、工期が確保できず、年度内完了が困難なことから増額するものです。

5ページをお願いいたします。

第3表、地方債補正です。

上の表は地方債の追加で、減収補てん債9,570万円を今回の補正で追加するものです。減収補てん債は、地方税の収入が普通交付税算定上の標準税収入額を上回る場合に、その減収分を補うために発行できる地方債で、発行額の75%が交付税措置されます。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、地方税の減収が見込まれることから、減収補てん債の対象となる税目が追加されたことにより、計上するものでございます。

下の表は、地方債の変更です。

農業農村整備事業は、先ほど繰越明許費で説明いたしました前倒しで国の補助金の採択となった、県の実施する土地改良事業分に係る起債で、限度額を7,320万円から9,100万円に増額するものです。

次の小学校施設改修事業とその下、中学校施設改修事業は、前倒しで国の交付金に採択された嚶鳴小学校と海上中学校の空調更新工事に係る起債です。

小学校施設改修事業は、起債の限度額を1億480万円から1億3,750万円に、中学校施設改修事業は、起債の限度額を3,170万円から4,920万円に、それぞれ増額するものです。

9ページをお願いいたします。

歳入から順を追って説明いたします。

10款1項1目地方交付税7,808万1,000円の増は、説明欄1、特別交付税の算定において、本年度分の旭中央病院分の交付税額が増額で算定されたことから、増額分を計上するものです。この増額分につきましては、歳出において同額を旭中央病院負担金として計上しております。

14款2項5目教育費国庫補助金703万7,000円の増は、1節小学校費国庫補助金207万8,000

円と、2節中学校費国庫補助金495万9,000円で、いずれも説明欄1、学校施設環境改善交付金であり、それぞれ今回の補正で計上した嚶鳴小学校と海上中学校の空調更新工事に対する補助金です。

16款1項2目利子及び配当金99万2,000円の増は、財政調整基金利子で運用している国債の運用益です。

17款1項1目総務費寄附金1,700万円の増は、ふるさと応援寄附制度による寄附金を増額するものです。

10ページをお願いいたします。

4目教育費寄附金50万円の追加は、1節教育総務費寄附金で、育英事業に対する寄附です。

18款1項1目介護保険事業特別会計繰入金4,015万2,000円の増は、令和元年度の介護保険事業特別会計繰出金の精算による返還分です。

18款2項3目災害復興基金繰入金5,021万円の減は、震災復興・津波避難道路整備事業の減額補正によるものです。

4目東日本大震災復興交付金基金繰入金1,527万9,000円の増は、令和2年度末をもって、東日本大震災復興交付金基金が終了することから、精算に必要な額を増額するものです。

11ページをお願いいたします。

19款1項1目繰越金3億7,746万9,000円の増は、留保していた前年度繰越金を今回の補正財源として計上するものです。

21款市債については、先ほど第3表の地方債補正で説明したとおりであります。

以上で歳入の説明を終わりました、続きまして、歳出について説明させていただきます。

12ページをお願いいたします。

2款1項6目財産管理費5億4,099万2,000円の増は、平成30年度の決算剰余金の2分の1と、運用益を財政調整基金に積み立てるものです。

7目企画費4,285万円の増については、説明欄1、ふるさと応援寄附推進事業の寄附金の増加に伴う業者への手数料及び委託料等の増、説明欄2、生涯活躍のまち形成事業の多世代交流施設の基本設計に係る費用及び説明欄3、ふるさと応援基金積立金の積立金増によるものです。

12目諸費2億1,447万2,000円の増は、国、県支出金の精算による返還金の増です。今回の補正では、東日本大震災復興交付金を精算し、残額を国に返還する分を計上していることから、金額が大きくなっております。

13ページをお願いいたします。

4款1項1目保健衛生総務費7,808万1,000円の増は、説明欄1、旭中央病院負担金の増で、先ほど歳入で説明いたしました旭中央病院に係る特別交付税の増額算定分を負担金として計上するものです。

6款1項4目畜産振興費1,307万1,000円の増は、説明欄1、家畜防疫対策事業の増で、豚熱ワクチンの接種頭数が大幅に増えたことから、補助金を増額するものです。

5目農地費1,598万8,000円の増は、説明欄1、農業基盤整備事業の増で、先ほど地方債の補正で説明いたしました前倒しで国の補助金の採択となった、県の実施する土地改良事業の事業費の増に伴い、市の負担金を増額するものです。

14ページをお願いいたします。

8款2項3目道路新設改良費2億8,269万5,000円の減は、説明欄1、震災復興・津波避難道路整備事業の減によるものです。この事業は、主に東日本大震災復興交付金基金を財源としておりますが、先ほど説明いたしました東日本大震災復興交付金基金が、令和2年度末をもって終了することから、関連する事業費を精算し、残額を国へ返還する必要があるため、今年度の執行分及び来年度の繰越分を除き、今回は減額補正を行うものです。

8款4項1目住宅管理費は、これも東日本大震災復興交付金基金の精算に伴い財源更正を行うもので、復興交付金基金の対象事業である市営住宅の家賃低廉化事業について、基金繰入額を増額、一般財源を減額するものです。

15ページをお願いいたします。

10款1項2目事務局費50万円の増は、説明欄1、育英基金積立金の増で、育英事業に対する寄附を旭市育英基金に積み立てるものです。

10款2項1目学校管理費869万円の増は、説明欄1、小学校施設改修事業の増で、来年度実施を見込んでいた嚶鳴小学校の空調更新工事が、前倒しで国の交付金に採択されることとなったため、その分の事業費を増額するものです。

10款3項1目学校管理費1,805万1,000円の増は、説明欄1、中学校施設改修事業の増で、来年度実施を見込んでいた海上中学校の空調更新工事が、前倒しで国の交付金に採択されることとなったため、その分の事業費を増額するものです。

17ページをお願いいたします。

この表は、地方債の現在高の見込みに関する調書です。令和2年度の起債額を1億6,370万円増額するもので、内容につきましては、先ほど起債の補正で説明したとおりでございます。

す。これにより令和2年度末現在高見込額は、一番右下ですけれども、328億5,439万7,000円となります。

以上で、議案第9号の補足説明を終わります。

○議長（木内欽市） 財政課長の補足説明は終わりました。

議案第10号について、高齢者福祉課長、登壇してください。

（高齢者福祉課長 赤谷浩巳 登壇）

○高齢者福祉課長（赤谷浩巳） 議案第10号、令和2年度旭市介護保険事業特別会計補正予算の議決について、補足説明を申し上げます。

補正予算書の1ページをお願いいたします。

第1条は、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億6,300万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ54億800万円とするものです。

2ページと3ページは、歳入歳出予算の款項の補正額であり、5ページと6ページは、事項別明細書の総括となっております。

詳しい内容につきましては、7ページ以降でご説明申し上げます。

それでは、7ページをお願いいたします。

歳入についてご説明申し上げます。

2款国庫支出金、2項4目介護保険保険者努力支援交付金633万3,000円は、介護予防・健康づくりに資する取組を重点的に評価し交付される交付金で、今年度に新設されたことに伴い、計上するものであります。

3款支払基金交付金、1項1目介護給付費交付金522万7,000円及び2目地域支援事業支援交付金211万8,000円は、令和元年度分の追加交付金となります。前年度に9か月分の事業費を基に概算で交付を受けていたものが、事業費が確定したことに伴い追加交付となったため、計上するものであります。

7款の繰越金ですが、令和元年度決算に基づく繰越額のうち、今回補正財源として1億4,932万2,000円を計上するものであります。

続きまして、歳出についてご説明申し上げます。

8ページをお願いいたします。

4款1項1目介護保険給付費準備基金積立金には、7,489万3,000円を追加し、7,492万6,000円といたしました。これは、基金運用利息と令和元年度の剰余金を積み立てるものでございます。

6款1項2目償還金は、8,810万7,000円を追加し、8,811万1,000円とするもので、令和元年度介護給付費負担金等の確定による国、県及び市の精算分を返還するものでございます。

以上で、議案第10号の補足説明を終わります。

○議長（木内欽市） 議案の補足説明は途中ですが、ここで2時10分まで休憩いたします。

休憩 午後 1時58分

再開 午後 2時10分

○議長（木内欽市） 休憩前に引き続き会議を開きます。

先ほどの財政課長より発言を訂正したい旨の申出がありましたので、発言を許可します。

財政課長。

○財政課長（伊藤義隆） それでは、先ほど議案第9号に誤りがございましたので、訂正させていただきます。

5ページです。

第3表地方債の補正の中で、減収補てん債の説明で、減収補てん債とは地方税の収入が普通交付税算定上の標準税収入額を上回る場合にと申し上げましたが、正確には下回る場合でございます。

おわびして訂正をさせていただきます。

○議長（木内欽市） 引き続き、議案第11号、議案第23号、議案第24号について、企画政策課長、登壇してください。

（企画政策課長 小倉直志 登壇）

○企画政策課長（小倉直志） 議案第11号、旭市多世代交流施設の設置及び管理に関する条例の制定について、補足説明をさせていただきます。

第1条は、設置の規定です。子どもを中心とした多世代間の交流を促進し、互いに触れ合う空間を提供するため、多様な機能を有する多世代交流施設を設置するものです。

第2条は、施設の名称と位置について定めるものです。名称はおひさまテラス、設置する位置は旭市イの4337番地です。

第3条は、施設が行う事業についてです。多世代間の交流促進に関すること、生涯学習及びコミュニティ活動の促進に関すること、地域産業の振興及び地域経済の活性化に関するこ

と、そのほか施設の設置の目的を達成するための必要な事業を規定しております。

第4条は、指定管理者による管理についてです。施設は地方自治法第244条の2第3項に規定する指定管理者が管理することを規定したものです。

第5条は、指定管理者が行う業務の範囲を定めたものです。第3条の事業のほか、施設の利用許可、利用料金の収納、維持管理などに関する業務となります。

第6条は利用の許可について、第7条は利用の不許可について、第8条は利用の許可の取消し等について、第9条は利用権の譲渡等の禁止について、それぞれ規定しております。

第10条は、多世代交流施設の利用に関する指定管理者の管理の基準の規定です。

第11条は利用料金について、第12条は利用料金の支払い時期について、第13条は利用料金の減免について、それぞれ規定した条項です。施設において、指定管理者は旭市使用料及び手数料に関する条例に定める額の範囲内において、市長の承認を受けて利用料金の額を定め、その利用料金を自己の収入として運営することを規定するものです。

第14条は原状回復の義務について、第15条は入場の制限について、第16条は損害賠償について、それぞれ規定しております。

第17条は、指定管理の指定を受けるものがないときなどに、市長が臨時的に多世代交流施設の管理業務を行うことができるようにする規定です。また、この場合において、関連する条項の一部の読替規定を規定しております。

第18条は、委任規定です。

続きまして、附則ですけれども、第1項は施行期日について、第2項は準備行為について、それぞれ規定しています。

また、第3項について、多世代交流施設の設置に当たり、旭市使用料及び手数料に関する条例の一部改正を本条例制定において、併せて行うものです。

使用料手数料の一部改正の内容についてご説明いたします。

利用料金制を用いて指定管理者の収入とするため、別表のとおり施設や用途に応じて、それぞれ上限を定めるものです。

カフェレストランについては、下限を設けた上で、売上金額に100分の10を乗じて得た額を指定管理者に支払うことを規定したものでございます。

以上で、議案第11号についての説明を終わります。

続きまして、議案第23号について補足説明申し上げますが、お手元の新旧対照表を用いてご説明させていただきますので、ご用意をお願いしたいと思います。

それでは、新旧対照表の32ページをお開き願いたいと思います。

議案第23号、地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院定款の一部変更について、補足説明申し上げます。

今後、旭中央病院が高度急性期医療を維持していくためには、患者の病変の組織や細胞を顕微鏡等で詳しく観察して診断を下す病理専門医の充実が欠かせません。しかしながら、病理専門医は専門医師の1.8%を占めるに過ぎず、しかも都市部に集中する傾向が強いことから、将来的に医師を確保できないリスクに備えるため、東京都文京区において遠隔での病理画像診断体制を整備するに当たり、第15条の表に旭中央病院附属病理診断科診療所を加えるものです。

また、第18条で地方独立行政法人法との条項のずれのため、第67条第1項を第66条の2第1項に改めるため、地方独立行政法人法第8条第2項の規定により、議会の議決を求めるものです。

以上で、議案第23号の補足説明を終わります。

続きまして、議案第24号、地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院第2期中期計画の変更に係る認可について、補足説明を申し上げます。

今回の変更は、主に議案第23号で説明しました病理専門医の確保の取組である遠隔病理診断の取組に加えて、既存施設の名称変更及び新型コロナウイルス感染症対応をはじめとした感染症医療に対する取組について修正を加える計画の変更について、認可しようとするものです。

同じく新旧対照表の33ページをご覧ください。

表中、下線の引かれている部分が変更箇所になりますけれども、主な点について説明いたします。

33ページ中段の②「第二種感染症指定医療機関として、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律により入院が必要とされる感染症患者を迅速に受け入れる体制を継続する」の後に、「特に新型コロナウイルス感染症については、行政機関及び関係機関等と連携し適切に対応する」を加えます。

33ページから34ページにかけて、3の「市の施策推進における役割の発揮」の(3)「予防医療に関する取組み」のア中、こちら34ページになります。「健診センター」を「予防医学研究センター」に改めます。

同じく34ページ下段の⑤として、「遠隔病理画像診断センターを開設し、病理医の確保に

努めるとともに、高度急性期病院として病理診断体制の維持・充実を図る」を加えます。

認可に当たりましては、地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院評価委員会条例第2条第2号の規定に基づき、事前に評価委員会に意見を求めたところ、変更を認可することが適当であるとの意見をいただいております。

以上で、議案第24号の補足説明を終わります。

○議長（木内欽市） 企画政策課長の補足説明は終わりました。

議案第12号、議案第17号について、総務課長、登壇してください。

（総務課長 伊藤憲治 登壇）

○総務課長（伊藤憲治） 議案第12号及び議案第17号の2議案について、補足説明を申し上げます。

初めに、議案第12号、旭市職員の分限に関する手続及び効果に関する条例の一部を改正する条例の制定について説明いたします。

まず、改正条文の説明の前に、職員の失職について説明いたします。

地方公務員法の第28条第4項では、職員が禁固以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで、またはその執行を受けることがなくなるまでの者に該当するに至ったときは、条例に特別の定めがある場合を除くほかは、その職を失うことが規定されております。

この規定に基づきまして、条例に失職の例外を定めることが今回の改正の趣旨であります。それでは、改正内容を説明いたします。

新旧対照表の5ページをお願いいたします。

改正内容は、現行条例第4条の次に、新たに第5条として失職の例外に関する規定を追加するものです。

この第5条の中で規定する法第16条第1号に該当するに至った職員とは、地方公務員法に定める禁固以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで、またはその執行を受けることがなくなるまでの者でありまして、これに該当するに至った職員のうち、その刑に係る罪が過失によるものであり、かつ、その刑の執行を猶予された者については、その情状を考慮して特に必要があると認めるときに限り、職を失わないものとする旨を規定するものです。

また、第2項では、職を失わなかった職員が執行猶予の言渡しを取り消されたときは、職を失うことを規定するものです。

なお、条例の施行は公布の日からとするものです。

以上で議案第12号の補足説明を終わります。

続いて、議案第17号、旭市コミュニティ施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について、補足説明を申し上げます。

現在、市内に4か所ありますコミュニティ施設のうち、農村環境改善センターについては、施設の老朽化などに伴い、平成25年度から一般の施設利用を休止しておりましたが、今般、関係者との協議が整いましたことから、施設の廃止に当たり、本条例を改正するものであります。

それでは、お手元の新旧対照表の21ページをご覧ください。

第3条の表は、コミュニティ施設の名称及び位置を定めるものですが、この表から、農村環境改善センターに係る部分を削るものです。

以上で、議案第17号の補足説明を終わります。

○議長（木内欽市） 総務課長の補足説明は終わりました。

議案第13号について、税務課長、登壇してください。

（税務課長 伊藤義一 登壇）

○税務課長（伊藤義一） 議案第13号、旭市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について、補足説明を申し上げます。

新旧対照表の6ページをお願いいたします。

まず、第2条及び第23条のうち、各号以外の部分の改正についてご説明申し上げます。

昨年3月の税制改正において地方税法施行令が改正され、国民健康保険税のうち基礎課税額（医療分）の課税限度額が61万円から63万円に、介護納付金課税額（介護分）の課税限度額が16万円から17万円に引き上げられたことから、当該課税限度額を定めた条項を改正するものです。

なお、参考までに申し上げますと、現在、県内市町村の課税限度額は、54団体中7割超の40団体が、昨年の税制改正に合わせて既に同様の引上げを行っており、旭市においても1年遅れとなりますが、令和3年度から課税限度額を引き上げるものでございます。

次に、7ページをお願いいたします。

第23条の各号部分の改正についてご説明申し上げます。

令和3年1月1日施行の個人所得課税の見直しにおいて、給与所得控除や公的年金控除から基礎控除へ10万円振り替わる改正が実施されました。この影響により、国民健康保険税の負担水準に関して意図しない影響や不利益が生じないようにするため、所要の改正を行うも

のでございます。

具体的には、国民健康保険税の減額の対象となる所得の基準について、軽減判定所得の算定に用いる基礎控除額相当分の基準額を33万円から43万円に引き上げるとともに、被保険者のうち一定の給与所得者と公的年金等の支給を受ける者の数の合計数から1を減じた数に10万円を乗じて得た金額を加えて軽減判定所得を算出するため、改正を行うものでございます。

8ページをお願いいたします。

附則第4項は、公的年金所得に係る国民健康保険税の課税の特例に関する内容であり、先ほどの個人所得課税の見直しを受けての改正と、一部の文言整理のための改正であります。

最後に、この条例は令和3年4月1日から施行するものとし、令和3年度以後の年度分の国民健康保険税について適用するものであります。

以上で、議案第13号の補足説明を終わります。

○議長（木内欽市） 税務課長の補足説明は終わりました。

議案第14号、議案第28号から議案第30号までの4議案について、財政課長、登壇してください。

（財政課長 伊藤義隆 登壇）

○財政課長（伊藤義隆） 議案第14号、議案第28号、議案第29号及び議案第30号について、補足説明を申し上げます。

初めに議案第14号、旭市諸収入金の延滞金徴収に関する条例等の一部を改正する条例の制定についてです。

本条例は、地方税法の一部改正により、市における分担金、使用料、手数料等の延滞金割合の特例に係る特例基準割合の文言整理が行われたことから、関係する条例を一括して改正するものです。

改正する条例は、第1条で旭市諸収入金の延滞金徴収に関する条例、第2条で旭市後期高齢者医療に関する条例、第3条で旭市介護保険条例、第4条で旭市都市計画下水道事業受益者負担金に関する条例、第5条で旭市下水道条例を改正するものです。

内容につきましては、全て同じですので、第1条旭市諸収入金の延滞金徴収に関する条例により説明いたします。

改正内容につきましては、新旧対照表で説明いたします。

それでは、新旧対照表の10ページをお願いします。

附則第3項延滞金の割合の特例について、「特例基準割合」を「延滞金特例基準割合」に、

「規定により告示された割合」を「規定する平均貸付割合」として文言整理したもので、これによる内容の変更はございません。

参考までに、現在地方税法の本則では、延滞金の率は最初の一月が7.3%、それ以降は14.6%となっておりますが、この特例基準により最初の一月が2.5%、それ以降が8.8%となっており、提案いたしました5条例についてもこれに準ずるものです。

以上で、議案第14号の補足説明を終わります。

続きまして、議案第28号、専決処分の承認について、補足説明を申し上げます。

令和2年度旭市一般会計補正予算（第6号）です。

この補正予算は、国が行う新型コロナウイルス感染症対策の一つであるひとり親世帯臨時特別給付金給付事業に係る経費について、令和2年12月16日に専決処分を行ったので、議会の承認を求めるものです。

1ページをお開きください。

第1条は、歳入歳出予算にそれぞれ3,700万円を追加し、予算の総額を471億5,100万円としたものであります。

7ページをお願いいたします。

初めに、歳入について説明いたします。

14款2項2目民生費国庫補助金3,700万円の増は、説明欄1、母子家庭等対策総合支援事業費補助金のひとり親世帯臨時特別給付金給付事業に対する補助金で、事業費の全額が補助されます。

続いて、歳出について説明いたします。

8ページをお願いいたします。

2款1項8目電子計算費119万5,000円の増は、説明欄1、電算システム運用事業で、ひとり親世帯臨時特別給付金の支給に伴う電算システムの改修費用です。

3款3項2目母子父子福祉費3,580万5,000円の増は、説明欄1、ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業で、児童扶養手当を受給しているひとり親世帯などに対するひとり親世帯臨時特別給付金について、1世帯5万円、第2子以降3万円の基本給付を支給する事業に係る費用です。

以上で、議案第28号の補足説明を終わります。

続きまして、議案第29号、専決処分の承認について、補足説明を申し上げます。

令和2年度旭市一般会計補正予算（第7号）です。

この補正予算は、国が行う新型コロナウイルス感染症対策の一つである新型コロナウイルスワクチン接種事業に係る経費について、令和3年1月26日に専決処分したので、議会の承認を求めるものです。

1ページをお開きください。

第1条は、歳入歳出予算にそれぞれ3億7,600万円を追加し、予算の総額を475億2,700万円としたものであります。

4ページをお願いいたします。

第2表繰越明許費補正です。

4款1項保健衛生費、新型コロナウイルスワクチン接種事業は、今年度から来年度にかけての事業となることから、繰越明許費の設定を行うものです。

7ページをお願いいたします。

初めに、歳入について説明いたします。

14款2項3目衛生費国庫補助金3億7,600万円の増は、説明欄1、新型コロナウイルスワクチン接種事務費補助金7,650万5,000円と、説明欄2、新型コロナウイルスワクチン接種事業費補助金2億9,949万5,000円で、新型コロナウイルスワクチン接種事業に係る費用の全額が補助されるものです。

続きまして、歳出について説明させていただきます。

8ページをお願いいたします。

4款1項2目予防費3億7,600万円の増は、説明欄1、新型コロナウイルスワクチン接種事業で、新型コロナウイルスワクチンの住民接種及び各種通知やコールセンターの設置などの体制整備に係る費用です。

以上で、議案第29号の補足説明を終わります。

続きまして、議案第30号、専決処分の承認について、補足説明を申し上げます。

令和2年度旭市一般会計補正予算（第8号）です。

この補正予算は、新型コロナウイルス感染症に対し、追加で実施する本市独自の対策に係る経費について、令和3年2月5日に専決処分したので、議会の承認を求めるものです。

1ページをお願いいたします。

第1条は、歳入歳出予算にそれぞれ4,200万円を追加し、予算の総額を475億6,900万円としたものであります。

4ページをお願いいたします。

第2表、繰越明許費補正です。

初めに、追加です。

3款2項老人福祉費、新型コロナウイルスワクチン接種高齢者タクシー利用助成事業は、自身で交通手段を確保できない高齢者に対する新型コロナウイルスワクチン接種会場への交通費の助成事業でありまして、高齢者へのワクチン接種が年度内に完了できないことから、繰越明許費を設定するものです。

4款1項保健衛生費、感染症予防対策事業は、介護保険施設等に新たに入所する高齢者等に対するPCR検査費用の助成事業及び市民が自費でPCR検査を受けた場合の費用の助成事業でありまして、ワクチン接種が年度内に完了できないことから、繰越明許費を設定するものです。

6款1項農業費、農水産業経営継続支援金給付事業は、新型コロナ感染症の影響により、経営に深刻な影響を受けている農水産業者にする支援事業を追加で実施するものでありまして、対象期間が3月までであるため、給付金の支給手続き等が年度内に完了できないことから、繰越明許費を設定するものです。

7款1項商工費、中小企業者等事業継続支援金給付事業は、新型コロナ感染症の影響により、経営に深刻な影響を受けている中小企業者等に対する支援事業を追加で実施するものでありまして、対象期間が3月までであるため、給付金の支給手続き等が年度内に完了できないことから、繰越明許費を設定するものです。

下の表は、繰越明許費の変更です。

10款2項小学校費、小学校施設改修事業及び3項中学校費、中学校施設改修事業は、いずれも12月補正において繰越明許費を設定しておりますが、今回の補正で追加する小・中学校の手洗場の一部を自動水栓化する工事の工期が確保できず、年度内完了が困難なことから、これを追加し、増額変更するものです。

7ページをお願いいたします。

初めに、歳入について説明いたします。

14款2項1目総務費国庫補助金4,035万5,000円の増は、説明欄1、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金です。

3目衛生費国庫補助金29万5,000円の増は、説明欄1、疾病予防対策事業費等補助金で、高齢者へのPCR検査費用の助成事業に対する国からの補助金です。

20款5項5目雑入135万円の増は、説明欄1、感染症等検査費用本人負担分で、介護保険

施設等に新たに入所する高齢者等に対するPCR検査費用の自己負担分です。

続きまして、歳出について説明させていただきます。

8ページをお願いいたします。

3款2項3目生活支援費563万6,000円の増は、説明欄1、新型コロナウイルスワクチン接種高齢者タクシー利用助成事業で、自身で交通手段を確保できない一人暮らし高齢者世帯や、75歳以上の高齢者のみの世帯に対し、ワクチン接種会場への交通費の助成を行うものです。

4款1項2目予防費1,403万9,000円の増は、説明欄1、感染症予防対策事業の増で、そのうち、12節委託料の感染症等検査委託料は、介護保険施設等に新たに入所する高齢者等に対するPCR検査費用の助成事業に係る費用、17節備品購入費は、各公共施設への非接触モニター型検温器・非接触型消毒器の設置に係る費用、18節負担金補助及び交付金は、市民の不安の軽減と感染拡大防止のため、行政検査対象外の方がPCR検査を受けた場合の費用の助成事業に係る費用です。

9ページをお願いいたします。

10款2項1目学校管理費1,632万6,000円の増ですが、説明欄1、小学校施設管理費は、感染予防のため、各学校に非接触モニター型検温器・非接触型消毒器等を設置する費用、説明欄2、小学校施設改修事業は、感染予防のため、小学校の手洗場の一部を自動水栓に交換する工事です。

10款3項1目学校管理費599万9,000円の増につきましては、説明欄1、中学校施設管理費につきましては、小学校と同様、感染予防のため、各学校に非接触モニター型検温器・非接触型消毒器等を設置する費用、10ページをお願いいたします、説明欄2、中学校施設改修事業で、小学校と同様、感染予防のため、中学校の手洗場の一部を自動水栓に交換する工事です。

以上で、議案第30号の補足説明を終わります。

○議長（木内欽市） 財政課長の補足説明は終わりました。

議案第15号、議案第16号について、高齢者福祉課長、登壇してください。

（高齢者福祉課長 赤谷浩巳 登壇）

○高齢者福祉課長（赤谷浩巳） 議案第15号及び議案第16号について、補足説明を申し上げます。

初めに、議案第15号、旭市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について、補足説明を申し上げます。

本議案は、3年ごとに見直すことになっている第1号被保険者の介護保険料について、令和3年度から令和5年度までの介護保険料を改定するほか、介護保険法施行令の一部改正に伴い、令和3年度から令和5年度までの介護保険料率の算定の特例を定める等の必要があるため、所要の改正を行うものであります。

それでは、新旧対照表によりご説明させていただきます。

新旧対照表の15ページをお願いいたします。

第3条は、対象年度を令和3年度から令和5年度までに改めるとともに、第1号から第11号で各所得段階の保険料を定めております。基準となるものは第5号で、年額6万4,800円、月額5,400円、所得の段階は、第5段階になります。その他の各段階の保険料は、基準額に各保険料率を乗じて算出したものとなっております。

第6号アについては、介護保険法施行令の一部改正に伴い、介護保険料の段階を判定する基準として用いる合計所得金額から控除する特別控除に、低未利用土地等の長期譲渡所得に係る特別控除額を追加するものです。

16ページをお願いいたします。

第7号ア、第8号アの合計所得金額については、介護保険法施行規則の一部改正に伴い、保険料の所得段階の判定に関する基準が見直しされたことにより、基準額を改めるもので、第9号アについても準じて改めるものであります。

17ページをお願いいたします。

第6条は、第3条で合計所得金額の言い換えを行ったことにより、重複する部分を削除するものです。

附則の第12項は、介護保険法施行令の一部改正に伴い、介護保険料に係る合計所得金額の算定方法を、合計所得金額に給与所得または公的年金等に係る所得が含まれている場合には、当該所得の合計額から10万円を控除することとする改定であります。

18ページをお願いいたします。

第13項、第14項は、その適用を令和4年度、5年度に準用するものです。

以上で、議案第15号の補足説明を終わります。

続きまして、議案第16号、旭市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について、補足説明を申し上げます。

本議案は、指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準及び指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令の一部を改正する省令

の公布に伴い、所要の改正を行うものであります。

初めに、改正の概要についてご説明いたします。

平成30年度介護報酬改定において、指定居宅介護支援事業等の事業の人員及び運営に関する基準を改正し、平成30年4月1日より、居宅介護支援事業所における管理者の要件を介護支援専門員から主任介護支援専門員に変更することとなりました。その際、令和3年3月31日までは、その適用を猶予する経過措置が設けられました。

その後、全国的な介護人材不足により主任介護支援専門員の配置が進まなかったため、経過措置を延長するとともに、主任介護支援専門員の確保が著しく困難である場合や、やむを得ない理由がある場合については、一時的に介護支援専門員を管理者とすることができる取扱いが追加されました。

それでは、新旧対照表によりご説明いたします。

新旧対照表の19ページをご覧ください。

第6条第2項に、主任介護支援専門員の確保が著しく困難である場合や、やむを得ない理由がある場合について、介護支援専門員を管理者とすることができる旨、加えられました。

経過措置第2項は、平成33年3月31日を令和9年3月31日とするものです。

第3項は、経過措置の対象となる事業所が、令和3年3月31日までに市の指定を受けていること及び対象となる介護支援専門員が同日の時点で引き続き管理者であることを規定するものです。

なお、施行日につきましては、令和3年4月1日からとなりますが、経過措置第2項の改正及び第3項の追加については、公布の日からの施行となります。

以上で、議案第16号の補足説明を終わります。

○議長（木内欽市） 高齢者福祉課長の補足説明は終わりました。

議案第18号、議案第22号について、環境課長、登壇してください。

（環境課長 高根浩司 登壇）

○環境課長（高根浩司） 議案第18号及び議案第22号について、補足説明を申し上げます。

初めに、議案第18号、旭市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定について、補足説明を申し上げます。

改正の経緯でございますが、本年4月からのごみ処理広域化に伴い、新たに東総地区広域市町村圏事務組合廃棄物の処理及び清掃に関する条例が本年1月25日に組合議会で可決されました。これにより、ごみ処理業務が東総地区広域市町村圏事務組合に移管されることから、

旭市廃棄物の処理及び清掃に関する条例との整合性を図るため、所要の改正を行うものです。

それでは、改正部分について、8点ほどご説明いたします。

お手元の新旧対照表の22ページをお開きください。

まず1点目ですが、第4条第5項について、廃棄物の処理施設が広域ごみ処理施設になることから、現行の「及び廃棄物処理施設での回収」の部分を削り、市では一般廃棄物の分別収集のみを行う内容に改正します。

2点目は、同じく22ページの第8条第1項についてですが、同じ理由で現行の「及び市の処理施設での資源の回収等」を削り、市では資源物の収集のみを行う内容に改正します。

3点目は、第13条第1項についてですが、一般廃棄物処理手数料に係る納付書の発行を東総地区広域市町村圏事務組合で行うことになることから、現行の「又は納付書」を削り、市では袋代により徴収する内容に改正します。

次に、23ページをご覧ください。

4点目は、前ページ下段から続きます。第19条第1項についてですが、現在のクリーンセンターが中継施設になり、処理施設ではなくなることから、現行の「市の処理施設への受け入れを拒否することができる」、これを改正後は、「市の指定する処理施設への搬入を禁止することができる」に改めます。

なお、市の指定する処理施設とは、広域ごみ処理施設のことで、こちらは施行規則のほうで明記いたします。

5点目ですが、同じく第19条第2項について、第1項と同じ理由で「市の処理施設への受け入れを拒否しようとするとき」を「市の指定する処理施設への搬入を禁止するとき」に改めます。

続いて6点目は、第24条から第29条についてですが、23ページから24ページをご覧ください。

これらの条文は、市が新たにごみ処理施設を設置する場合に必要な手続き等を定めた条文であるため、削除いたします。

続いて7点目は、24ページの下段から25ページになります。第30条についてですが、技術士法の改正により、1号中にある「水道部門」という名称を「上下水道部門」に改めるものです。また、第24条から第29条を削除いたしますので、この第30条を第24条とし、第31条を第25条に改めます。

次に、8点目になります。

26ページから27ページをご覧ください。

東総地区広域市町村圏事務組合廃棄物の処理及び清掃に関する条例の制定で、一般廃棄物を搬入した者から徴収する一般廃棄物処理手数料、これが定められたため、現行の旭市使用料及び手数料に関する条例、別表第2その3中、自ら市の施設に搬入した場合の項及び27ページになりますが、特定家庭用機器の市保管場所から指定引き取り場所へ運搬した場合の手数料を削除するものです。

以上で、議案第18号の補足説明を終わります。

次に、議案第22号、旭市塵芥焼却場の設置等に関する条例を廃止する条例の制定について、補足説明を申し上げます。

廃止の経緯ですが、本年4月からのごみ処理広域化に伴い、新たに東総地区広域市町村圏事務組合一般廃棄物処理施設等の設置及び管理に関する条例が、1月25日に組合議会で可決されました。

これにより、市の最終処分場を除く、一般廃棄物処理施設の設置等に関する条例を廃止するものでございます。

以上で、議案第22号の補足説明を終わります。

○議長（木内欽市） 環境課長の補足説明は終わりました。

議案第19号について、農水産課長、登壇してください。

（農水産課長 多田一徳 登壇）

○農水産課長（多田一徳） 議案第19号、旭市農産物処理加工センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について、補足説明を申し上げます。

旭市岩井2566番地にある岩井都市農村交流ステーションについて、施設の管理をしていた運営会社の解散に伴い、令和3年度から管理が旭市へ切り替わることを受け、名称を旭市海上農産物処理加工センターに変更し、本条例に追加するため、所要の改正を行うものでございます。

それでは、新旧対照表の28ページをご覧ください。

主な改正点をご説明申し上げます。

第3条の名称及び位置に、旭市海上農産物処理加工センターの名称と住所が追加になります。

続きまして29ページをご覧ください。

使用料につきましては、旭市使用料及び手数料に関する条例の別表第1その1の旭市農産

物処理加工センターの欄に、旭市海上農産物処理加工センター使用料を追加し、規定いたします。

なお、これらの改正に伴い、岩井都市農村交流ステーションの設置に関する条例は廃止いたします。

以上で、議案第19号の補足説明を終わります。

○議長（木内欽市） 農水産課長の補足説明は終わりました。

議案第20号について、都市整備課長、登壇してください。

（都市整備課長 栗田 茂 登壇）

○都市整備課長（栗田 茂） 議案第20号、旭市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について、補足説明を申し上げます。

新旧対照表の30ページをご覧ください。

住宅の老朽化による用途廃止に伴い、神西住宅の6戸及び双葉団地の1戸について、設置戸数を減じるものです。

新旧対照表別表中の左側、神西住宅の戸数欄に6と表記しているものを全戸が廃止となるため神西住宅の項を削除し、双葉団地の戸数欄に42と表記しているものを41に改正するものです。

なお、本条例の施行期日は令和3年4月1日です。

以上で、議案第20号の補足説明を終わります。

○議長（木内欽市） 都市整備課長の補足説明は終わりました。

議案第21号について、生涯学習課長、登壇してください。

（生涯学習課長 八木幹夫 登壇）

○生涯学習課長（八木幹夫） 議案第21号、旭市図書館設置条例の一部を改正する条例の制定について、補足説明を申し上げます。

本議案は、旭市図書館の機能を千葉県立東部図書館内に移転するため、図書館の位置を旭市口の729番地から旭市ハの349番地に改めるものでございます。

また、附則は本条例の施行日を規則で定める日とするものでございます。

以上で、議案第21号の補足説明を終わります。

○議長（木内欽市） 生涯学習課長の補足説明は終わりました。

議案第25号、議案第27号について、建設課長、登壇してください。

（建設課長 加瀬博久 登壇）

○建設課長（加瀬博久） 議案第25号及び議案第27号の補足説明を申し上げます。

初めに、議案第25号、和解及び損害賠償の額を定めることについて、補足説明を申し上げます。

平成30年10月3日から平成31年3月25日の間、旭市三川地先（市道1-016号線）において、旭市発注の蛇園南地区流末排水整備事業における排水路整備工事が起因し、市内在住の方が農業経営で使用している農業用ビニールハウスにおいて、地下水位が低下したことにより、作付けするキュウリの収穫量が減少し、減収となる損害が生じたため、その損害に対し、相手方との交渉の結果、和解及びこれに要する損害賠償額229万3,997円を支払うべく、議会の議決を求めるものでございます。

以上で、議案第25号の補足説明を終わります。

続きまして、議案第27号、市道路線の認定について、補足説明を申し上げます。

本件の4路線につきましては、認定路線調書の整理番号1、2の道路整備に伴う2路線及び整理番号3、4の宅地造成により、寄附された2路線を新たに認定するに当たり、議会の議決を求めるものでございます。

以上で、議案第27号の補足説明を終わります。

○議長（木内欽市） 建設課長の補足説明は終わりました。

議案第26号について、社会福祉課長、登壇してください。

（社会福祉課長 椎名 隆 登壇）

○社会福祉課長（椎名 隆） 議案第26号、指定管理者の指定について、補足説明を申し上げます。

飯岡福祉センターの指定管理者の指定につきましては、旭市公の施設に係る指定管理者の指定の手續等に関する条例第5条の規定を適用し、公募は行わずに、現在同施設の指定管理者である社会福祉法人旭市社会福祉協議会を指定管理者候補者として、市民を代表する者及び学識経験者を含めた旭市指定管理者候補者選定委員会で審議を行いました。

審議の結果、社会福祉法人旭市社会福祉協議会が適当な指定管理者候補者として選定されたことにより、地方自治法第244条の2第6項の規定により議会の議決を求めるものです。

以上で、議案第26号の補足説明を終わります。

○議長（木内欽市） 社会福祉課長の補足説明は終わりました。

以上で、議案の補足説明は終わりました。

○議長（木内欽市） 以上をもちまして、本日の日程は全部終了いたしました。

これにて本日の会議を閉じます。

なお、次回は3月3日定刻より会議を開きます。

大変ご苦労さまでございました。

散会 午後 3時13分